Canon

キヤノン株式会社

キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター

050-555-90005

受付時間： 平日 9：00～20：00
　　　　　土・日・祝日 10：00～17：00
　　　　　(1月1日～1月3日は休ませていただきます）

※ 海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は、043-211-9630をご利用ください。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

カメラ修理受付センター

050-555-99077

受付時間：平日・土曜 9：00～18：00
(日曜、祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます）

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

最新の情報が掲載されておりますので、ぜひご覧ください。

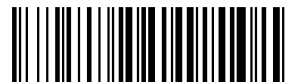
キヤノンデジタルカメラ製品情報	http://canon.jp/cdc
キヤノンサポートページ	http://canon.jp/support
CANON iMAGE GATEWAY	http://www.imagegateway.net

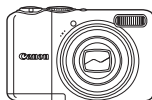
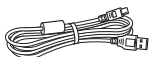
CDI-J381-010 PRINTED IN CHINA

Canon キヤノンデジタルカメラ PowerShot A2000 IS カメラユーザーガイド

Canon

PowerShot A2000 IS
カメラユーザーガイド

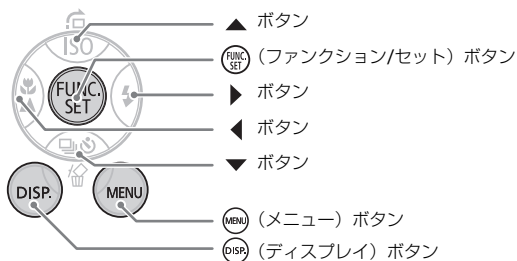
日本語

カメラと付属品の確認

お使いになる前に、以下のものが入っていることを確認してください。万一、不足のものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

CD-ROM内の電子マニュアル（PDF形式）もあわせて参照してください。

- ZoomBrowser EX/ImageBrowserソフトウェアガイド

- 付属のメモリーカードは、カメラの動作確認や試し撮りにお使いください。
- 電子マニュアル（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Readerが必要です。

このガイドの記載について

- カメラの画面に表示される絵文字や文言は、［ ］付きで示しています。
- 操作ボタンは、下のように示しています。

- ：困ったときに手助けとなる内容。
- ：上手に使うためのヒント。
- ：不都合が生じる恐れのある注意事項。
- ：補足説明。
- （p.xx）：xxは参照ページを示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。
- このカメラで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。

はじめにお読みください

試し撮りと撮影内容の保証について

必ず事前に試し撮りをし、撮影後は画像を再生して画像が正常に記録されていることを確認してください。万一カメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みができなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがこのカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

保証について

このカメラの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障や不具合が生じた場合は、帰国したあと、別紙の相談窓口へご相談ください。

液晶モニターについて

液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。

長い時間使う際のご注意

このカメラは、長い時間お使いになっていると、カメラの温度が高くなることがあります。これは故障ではありません。

いい思い出をもっと素敵に

やりたいこと目次

撮　る

- カメラまかせで写真を撮りたい..p.22
- とにかくかんたんに写真を撮りたい（らくらくモード）.........p.54
- 撮影シーンにあわせて撮りたい..p.55~58
  - 人物を上手に撮りたい

人物をきれいに (p.55)　夜景と人物 (p.55)　子供やペット (p.55)　砂浜で (p.57)　雪景色で (p.57)

  - 風景を上手に撮りたい

風景 (p.55)　夜景 (p.57)　自然の木や花 (p.57)　夕焼け (p.57)

  - いろいろなシーンにあわせて撮りたい

室内で (p.56)　花火 (p.58)　水族館で (p.58)　暗い場所で (p.57)

- 人物の顔を上手に撮りたい..p.80
- ストロボ禁止の場所で撮りたい（ストロボ発光禁止）.........p.59
- 自分も一緒に写りたい（セルフタイマー撮影）..................p.60
- 日時を入れて撮りたい..p.63
- 近くの被写体を撮りたい（マクロ撮影）............................p.64
- セピア調や白黒写真で撮りたい..p.75
- 画像の大きさを変えたい（記録画素数）.......................................p.70
- 連続して写真を撮りたい（連写）.......................................p.69
- 手ブレを防いで撮りたい（手ブレ補正）................................p.124
- 暗い場所でも手ブレを防いで撮りたい（高感度）............p.58、72

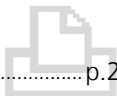
見　る

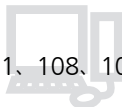
- 画像を見たい p.24
- 自動再生で見たい（スライドショー） p.98
- テレビで見たい p.100
- 画像を素早く探したい p.94
- 画像を消したい .... p.25、101
- 画像を誤って消さないようにしたい（プロテクト） p.102

動画を撮る／見る

- 動画が撮りたい p.28
- 動画を見たい p.30

印刷する

- 写真をかんたんに印刷したい p.26

残　す

- 画像をパソコンに保存したい .... p.31、108、109

その他

- 音が鳴らないようにしたい p.51
- 海外で使いたい p.128

目次

このガイドは、1～3章までの説明で、このカメラの基本的な操作やよく使う機能がわかるようになっています。4章以降は高度な機能を説明していますが、読み進めることでステップアップできるようになっています。

カメラと付属品の確認 2
このガイドの記載について 3
やりたいこと目次 6
安全上のご注意 10
液晶モニターに関する注意 12

1 さっそくカメラを使ってみよう 13

電池とカードを入れる 14
日付／時刻を設定する 18
表示言語を選ぶ 20
シャッターボタンの押しかた 21
撮る 22
見る 24
消す 25
印刷する 26
動画を撮る 28
動画を見る 30
パソコンに取り込む 31
アクセサリー 一覧 36
別売アクセサリー 38

2 もっとカメラを知ってみよう 39

各部のなまえ 40
ランプの表示 42
節電機能（オートパワーオフ）..... 42
画面の表示内容一覧 43
画面表示の切り換え 45
FUNC.メニューの基本操作 46
メニューの基本操作 47
カメラの設定を初期状態に戻す 48
カードを初期化する 49
音の設定を変える 51
撮影後の画像表示時間を変える 52

3 いろいろなシーンやよく使う機能で撮ってみよう 53

とにかくかんたんに撮る（らくらくモード）..... 54
撮影シーンにあわせて撮る 55
SCN 特別なシーンで撮る 56
ストロボを発光させない 59
ストロボを発光させる 59
セルフタイマーを使う 60
遠くの被写体を拡大する 61
日時を入れる 63
近くの被写体を撮る（マクロ撮影）..... 64
遠くの被写体を撮る（遠景）..... 65

4 目的の設定にして撮ってみよう 67

P プログラムAE撮影 68
連続して撮る 69
記録画素数（画像の大きさ）を変える 70
画質（圧縮率）を変える 70
ISO感度を変える 72
色あいを調整する（ホワイトバランス）..... 73
明るさを変える（露出補正）..... 74
画像の色調を変える（マイカラー）..... 75

構図を変えて撮る
（フォーカスロック撮影）............ 76
テレビを使って撮る 77
セルフタイマーの
時間と撮影枚数を変える 78

5 もっとカメラを使いこなそう............................79

AFフレームを変える 80
ピントや人物の表情を確認する
（ピント位置拡大表示）............... 82
ピントを合わせたい人物を
選んで撮る（顔セレクト）........... 83
撮影直後にピント位置を確認する
（フォーカスチェッカー）............ 84
測光モードを変える 85
AFL AFロックで撮る 85
AEL AEロックで撮る 86
FEL FEロックで撮る 87
シャッタースピードを遅くする
（長秒時撮影）.......................... 88

6 動画のいろいろな機能を使ってみよう..........................89

動画モードを変える 90
の画質を変える 90
露出を指定して撮る 91
その他の撮影機能の操作方法 92
再生機能の操作方法 92

7 いろいろな再生とその他の機能を使ってみよう 93

見たい画像を素早く探す 94
カテゴリーに分けて管理する
（マイカテゴリー）..................... 96
拡大して見る 97
スライドショーで見る............ 98
ピントや人物の表情を確認する
（フォーカスチェッカー）............ 99
テレビで見る 100
画像を切り換えたときの
効果を変える 101
まとめて消す 101
保護する（プロテクト）...... 102
画像を小さくする（リサイズ）
.... 103
回転する 104
赤目を補正する................... 105
音声メモを付ける 107
目的の画像をパソコンに送る 108
送信指定（DPOF）............. 109
印刷指定（DPOF）.................. 111

8 カメラの機能を自分好みに変えよう 117

カメラの機能を変える 118
撮影機能を変える 121

9 カメラを使うときに役立つ情報...........................125

家庭用電源でカメラを使う 126
補助ストロボを使う 126
日ごろの取り扱いについて 127
海外での使用について 128
故障かな？ と思ったら 129
画面に表示されるメッセージ一覧
.... 132
撮影機能／FUNC.メニュー 一覧 . 134
メニュー 一覧 136
主な仕様 140
索引 142

安全上のご注意

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は､あなたや他の人々への危害や障害を未然に防ぐためのものです。
- 別売アクセサリーをお持ちの場合は、付属の使用説明書もあわせてご確認ください。

 警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容です。

 注意 傷害または物的損害を負う可能性がある内容です。

⚠ 警告

カメラ

- **お子様や幼児の手の届かないところに保管する。**
  ストラップ：誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。
  カード、日時/時刻用電池：誤って飲み込むと危険です。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。
- **ストロボを人の目に近付けて発光しない。**
  視力障害の原因となります｡特に､乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。
- **分解、改造しない。**
- **落下などで破損した場合は、内部には触れない。**
- **煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生した場合は、使わない。**
- **内部に液体や異物などを入れない。**
  火災、感電の原因となります。
  万一、液体や異物が入った場合は、すぐに電源を切り、その後必ず電池を取り出してください。
- **アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。**
- **指定外の電源は使わない。**

電池

- **指定外の電池は使わない。**
- **電池は火に近付けたり、火の中に投げ込まない。**
- **水や海水などの液体で濡らさない。**
- **分解、改造したり、加熱しない。**
- **落とすなどして強い衝撃を与えない。**
  電池が破裂や液漏れし、けがや周囲を汚す原因となったり、火災、感電の原因となることがあります。万一、電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。
- **廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。**
  他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となります。

⚠ 注意

- **カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けない。**
  撮像素子（CCD）が破損する場合があります。
- **ストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。**
- **レンズを強く押したり、ぶつけたりしない。**
  けがやカメラの故障の原因となることがあります。
- **砂浜や風の強い場所で使うときは、カメラの内部にほこりや砂が入らないようにする。**
  故障の原因となることがあります。
- **以下の場所で使用・保管しない。**
  - 直射日光のあたるところ
  - 40度以上の高温になるところ
  - 湿気やほこりの多いところ
  電池の液漏れ、発熱、破損により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。また、カメラが熱により変形することがあります。
- **使用しないときは、カメラから電池を取り出して保管する。**
  カメラに電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。
- **ストロボを手や布などで覆ったり、ゴミやほこりなどがついたまま発光しない。**
  故障の原因となることがあります。

液晶モニターに関する注意

- **ズボンのポケットにカメラを入れたまま、椅子などに座らない。**

  液晶モニターの破損の原因となります。

- **かばんにカメラを入れるときは、硬いものが液晶モニターにあたらないようにする。**

  硬いものが液晶モニターにあたると破損の原因となります。

- **ストラップにアクセサリーを付けない。**

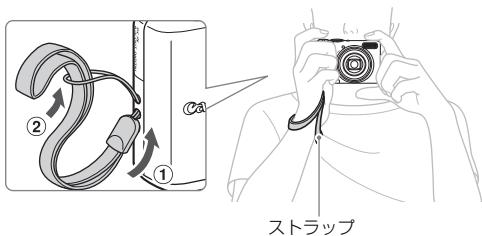
  アクセサリーが液晶モニターにあたると破損の原因となります。

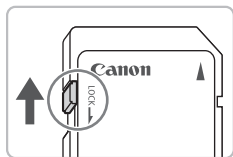
1

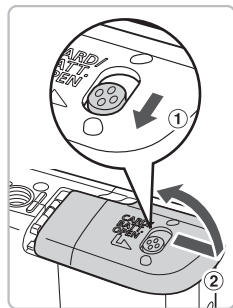
さっそくカメラを使ってみよう

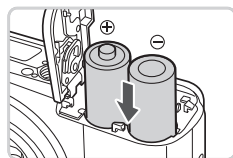
この章では、撮影前の準備やAUTO（オート）を使った撮影方法、撮影した画像を見る、消す、印刷する方法について説明しています。

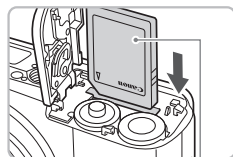
ストラップを取り付ける／カメラを構える

- 付属のストラップをカメラに取り付け、撮影時にはカメラを落とさないように、手首に通してお使いください。
- 撮影するときは、脇をしめてカメラが動かないようにしっかりと構え、ストロボに指がかからないようにしてください。

電池とカードを入れる

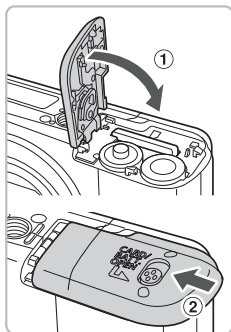
カメラに付属の電池とカードを入れます。

1 カードのスイッチを確認する

- スイッチがあるカードでは、スイッチが下（LOCK側）になっていると撮影できません。「カチッ」と音がするまでスイッチを上に動かします。

2 ふたを開ける

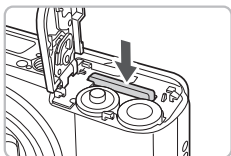
- ①の方向にスイッチを動かしたまま、ふたを②の方向へ動かします。

3 電池を入れる

- （+）（−）を正しくあわせて入れます。

ラベル面

4 カードを入れる

- カードのラベル面を図の向きにして、「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- カードは、必ず正しい向きで入れてください。間違って入れるとカメラの故障の原因となります。

5 ふたを閉める

- ふたを閉じて押さえたまま①、「カチッ」と音がするまでふたを② の方向へ動かします。

カードを取り出す

- 「カチッ」と音がするまでカードを押し込み、ゆっくり放します。

撮影できる枚数の目安

電源	アルカリ電池（付属品）	ニッケル水素電池（別売）
撮影枚数*	240枚	500枚
再生時間（時間）	9時間	11時間

*撮影できる枚数は、CIPA（カメラ映像機器工業会）の試験基準によります。

- 実際の撮影条件との違いにより、枚数が少なくなることがあります。
- アルカリ電池は銘柄により、撮影枚数が大きく変わることがあります。
- ニッケル水素電池は、フル充電状態での枚数です。

使える電池

単3形アルカリ電池と、キヤノン製単3形ニッケル水素電池（別売）（p.36）です。

指定された電池以外は使えない？

指定した電池以外は性能にばらつきがあるため、おすすめできません。

ニッケル水素電池を使うメリット

アルカリ電池に比べて、より長時間（特に低温下）カメラが使えます。

電池の残量表示

電池の残量が少なくなると、画面にマークやメッセージが表示されます。電池の残量がある場合は表示されません。

画面表示	内容
	電池の残量が少なくなってきました。引き続きカメラを使うときは、新しい電池を用意してください。
[バッテリーを交換してください]	電池の残量がありません。新しい電池に交換してください。

1枚のカードで撮影できる枚数の目安

カード	32MB（付属品）	2GB	8GB
撮影枚数	11	749	2994

- カメラが初期状態での枚数です。
- 撮影できる枚数は、カメラの各種設定、被写体、カードにより変わります。

撮影できる枚数を確認するには？

カメラを撮影モード（p.22）にすると画面で確認できます。

撮影できる枚数

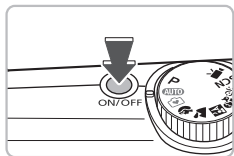
使えるカード

- SD（エスディー）メモリーカード
- SDHC（エスディーエイチシー）メモリーカード
- MultiMediaCard（マルチメディアカード）
- MMCplus（エムエムシープラス）カード
- HC MMCplus（エイチシーエムエムシープラス）カード

カードのスイッチは何のスイッチ？

SDメモリーカードとSDHCメモリーカードには、ライトプロテクト（書き込み禁止）というスイッチがついています。このスイッチがLOCK側になっていると、画面に［ライトプロテクト］と表示され、撮影や消去ができません。

日付／時刻を設定する

はじめて電源を入れると日付／時刻の設定画面が表示されます。撮影した画像には、ここで設定した日付／時刻をもとにした日時の情報が記録されます。必ず設定してください。

1 電源を入れる

● 電源ボタンを押します。

▶［日付/時刻］画面が表示されます。

2 日付／時刻を設定する

● ◀▶ボタンを押して項目を選びます。

● ▲▼ボタンを押して設定します。

3 設定を終了する

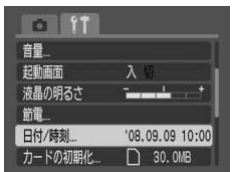
● (FUNC. SET)ボタンを押します。

▶ 日付／時刻が設定され、［日付/時刻］画面が消えます。

日付／時刻を変える

すでに日付／時刻が設定されている場合は、以下の手順で変えられます。

1 メニューを表示する

- (MENU)ボタンを押します。

2 [ƳƮ] タブの [日付/時刻] を選ぶ

- ◀▶ボタンを押して [ƳƮ] タブを選びます。
- ▲▼ボタンを押して [日付/時刻] を選び、(FUNC/SET)ボタンを押します。

3 日付／時刻を変える

- 左ページの手順2～3の操作で設定します。
- (MENU) ボタンを押して、メニュー画面を消します。

? 電源を入れるたびに［日付/時刻］画面が表示されるときは？

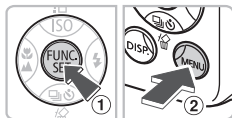
- 日付／時刻を設定しないと、電源を入れるたびに［日付/時刻］画面が表示されます。正しく設定してください。
- カメラから電池を取り出して約3週間経過すると、設定した日付/時刻が解除される場合があります。再度、設定しなおしてください。

カメラには、日付/時刻などの設定を保持するためのリチウム充電池が内蔵されています。カメラに単3形アルカリ電池を入れておくか、別売のACアダプターキットを使用すると、約4時間で充電されます。カメラの電源が入っていなくても充電できます。

表示言語を選ぶ

画面に表示される言語を変えられます。お買い上げ時は日本語に設定されています。

1 再生モードにする

● ▶ボタンを押します。

2 設定画面を表示する

● (FUNC./SET)ボタンを押したまま①、(MENU)ボタンを押します②。

▶ 表示言語の画面が表示されます。

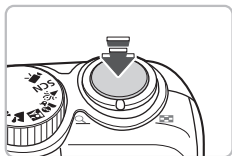
3 言語を設定する

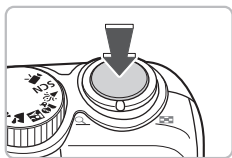
● ◀▶ボタンを押して言語を選び、(FUNC./SET)ボタンを押します。

▶ 表示言語が設定され、表示言語の画面が消えます。

言語設定は、(MENU)ボタンを押すと表示されるメニュー画面で、[ƳŤ]タブの[言語]を選んで設定することもできます。

シャッターボタンの押しかた

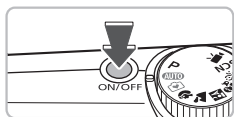
シャッターボタンは二段階のスイッチになっています。ピントが合った画像を撮るために、必ずシャッターボタンを浅く押す「半押し」をしてピントを合わせてから撮影します。

1 半押し（一段目まで浅く押す）

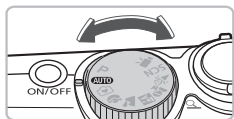
- ピント合わせと、明るさや色の調整など、撮影に必要な設定が自動的におこなわれます。
- ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ランプ（背面）が緑色に点灯します。

2 全押し（二段目まで深く押す）

- 撮影されます。

シャッターボタンを半押しせずに、一気に二段目まで深く押し込むと、ピントが合わない画像になることがあります。

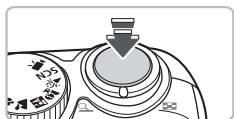
撮る

カメラまかせでかんたんに撮影できます（オートモード）。

1 電源を入れる

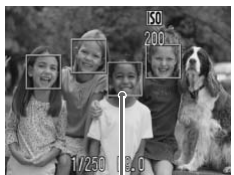
- 電源ボタンを押します。
- ▶ 起動音が鳴り、起動画面が表示されます。
- もう一度押すと電源が切れます。

2 撮影モードを選ぶ

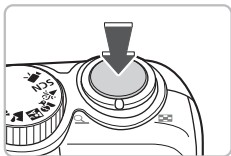
- モードダイヤルをAUTOにします。

3 撮りたいものの大きさを決める

- ズームレバーを[♠]側へ押すと撮りたいものが大きくなり、[♠♠♠]側へ押すと小さくなります。

4 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しして（浅く押して）、ピントを合わせます。
- ▶ ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ランプが緑色に点灯します（ストロボ発光時はオレンジ色に点灯）。

ランプ

AFフレーム

- ▶ ピントが合った位置にAFフレームが緑色で表示されます。

5 撮影する

- シャッターボタンを全押しして（深く押して）、撮影します。
- ▶ シャッター音が鳴り、撮影されます（暗いところでは自動的にストロボが光ります）。
- ▶ ランプ（背面）が緑色に点滅し、撮影した画像がカードに記録されます。
- ▶ 撮影した画像は、画面に約2秒間表示されます。画像が表示されている間も撮影できます。

こんなときは？

- **音が鳴らない**
  DISPボタンを押したまま電源を入れたため、警告音以外の音が鳴らなくなりました。音が鳴るように設定するには、MENUボタンを押して、［YT］タブの［消音］を選び、◀▶ボタンを押して［切］を選びます。
- **ストロボが光ったのに暗い画像になった**
  被写体までの距離が遠すぎます。ズームレバーが[W]側では約30cm～3.5m、[T]側では約50cm～2.0mの範囲で撮影してください。
- **シャッターボタンを半押ししたときに、ランプ（背面）がオレンジ色に点滅し、電子音が「ピッ」と1回鳴るときは？**
  撮りたいものが近すぎます。約50cm以上離れてシャッターボタンを半押しし、ランプ（背面）がオレンジ色に点滅しない状態で撮影してください。
- **撮影しようとしたら、画面が消えた**
  ストロボ充電がはじまると画面が消えて、ランプ（背面）がオレンジ色に点滅することがあります。充電が終わるともとどおりに表示されます。
- **ランプ（前面）が点灯する**
  暗いところの撮影では、目が赤く写るのを緩和したり、ピントを合わせたりするため、ランプ（前面）が点灯することがあります。

見る

撮影した画像は、画面で見ることができます。

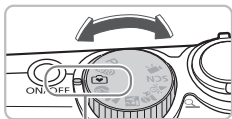
1 再生モードにする

- ▶ボタンを押します。
- ▶ 最後に撮影した画像が表示されます。

2 画像を選ぶ

- ◀ ボタンを押すと最後に撮影した画像から、新しい順に表示します。
- ▶ボタンを押すと古い画像から順に表示します。
- ◀▶ ボタンを押したままにすると早く進みます。ただし、表示される画像は粗くなります。

初心者におすすめ「♡（らくらくモード）」

モードダイヤルを♡（らくらくモード）にするだけで、写真を「撮る」、「見る」がかんたんにできます。操作に迷うことなく使えるため、初心者におすすめです。

らくらくモード

1 モードダイヤルを♡にする

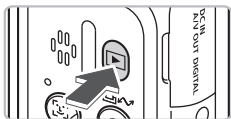
2 撮る

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。
- ▶ ピントが合った位置に AF フレームが緑色で表示されます。
- シャッターボタンを全押しして撮影します。

3 見る

- ▶ボタンを押します。
- ◀▶ ボタンを押して、見たい画像を表示します。

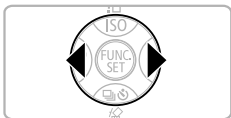
消す

不要な画像を1枚ずつ選んで消せます。なお、消した画像は、もとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。

1 再生モードにする

- ▶ボタンを押します。

▶ 最後に撮影した画像が表示されます。

2 消したい画像を選ぶ

- ◀▶ ボタンを押して画像を選びます。

3 消す

- ▼ボタンを押します。
- ◀▶ ボタンを押して［消去］を選び、(FUNC/SET)ボタンを押します。

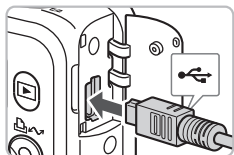
▶ 表示していた画像が消えます。

- 中止するときは、◀▶ボタンを押して［キャンセル］を選び、(FUNC/SET)ボタンを押します。

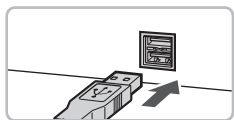
印刷する

撮影した画像は、カメラとPictBridge（ピクトブリッジ）対応プリンター（別売）をつないで、かんたんに印刷できます。

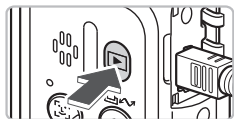
用意するもの

- カメラとPictBridge対応プリンター（別売）
- 付属のインターフェースケーブル（p.2）

1 カメラとプリンターの電源を切る

2 カメラとプリンターをつなぐ

- ふたを開き、ケーブルの小さいプラグを図の向きにして、カメラの端子に差し込みます。
- ケーブルの大きいプラグをプリンターに差し込みます。プリンターのつなぎかたについては、プリンターの使用説明書を参照してください。

3 プリンターの電源を入れる

4 カメラの電源を入れる

- ▶ボタンを押して電源を入れます。
- ▶ ［ SET］が表示され、ボタンが青色に点灯します。

5 印刷する画像を選ぶ

● ◀▶ ボタンを押して画像を選びます。

6 印刷する

● 🖶〜ボタンを押します。

▶ 印刷がはじまり、🖶〜 ボタンが青色に点滅します。

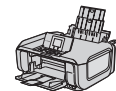
● 別の画像を印刷するときは、印刷が終わったあと、手順5～6の操作を繰り返します。

● 印刷が終わったらカメラとプリンターの電源を切り、ケーブルを抜きます。

詳しい印刷方法やカメラダイレクト対応プリンターでの印刷方法については、「ダイレクトプリントユーザーガイド」を参照してください。

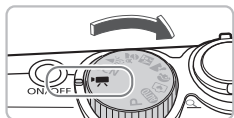
キヤノン製PictBridge対応プリンター（別売）の紹介

パソコンを使わずに、カメラとキヤノン製の下記PictBridge対応プリンターをつないで、かんたんに撮影した画像を写真として印刷できます。

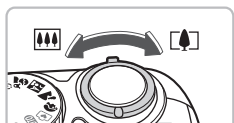
SELPHYシリーズ

PIXUSシリーズ

商品の詳細については、ホームページや商品カタログでご確認いただくか、別紙の相談窓口へお問い合わせください。

動画を撮る

モードダイヤルを🎥（動画）にすると動画撮影ができます。

録画できる時間

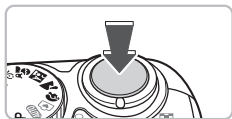
1 動画モードにする

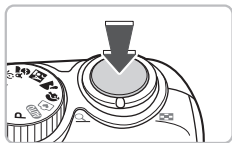
- モードダイヤルを🎥にします。
- ［🎥］になっていることを確認します。

2 撮りたいものの大きさを決める

- ズームレバーを[🌲]側へ押すと撮りたいものが大きくなり、🌲🌲🌲側へ押すと小さくなります。

ランプ

3 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しして（浅く押して）、ピントを合わせます。
- ▶ ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ランプが緑色に点灯します。

撮影時間

マイク

4 撮影する

- シャッターボタンを全押し（深く押す）します。
- 撮影がはじまったら、シャッターボタンから指を放します。
- ▶［●録画］と撮影時間が表示されます。
- 撮影中はマイクをふさがないでください。
- シャッターボタン以外を操作すると、操作音も記録されます。

5 撮影を終了する

- シャッターボタンをもう一度全押し（深く押す）します。
- ▶電子音が「ピッ」と1回鳴り、撮影が終わります。
- ▶ランプ（背面）が緑色に点滅し、撮影した動画がカードに記録されます。
- ▶カード容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終わります。

録画できる時間の目安

カード	32MB（付属品）	2GB	8GB
撮影時間	15秒	16分47秒	1時間7分6秒

- カメラが初期状態での録画時間です。
- 録画できる時間は、手順1の画面で確認できます。

動画を見る

撮影した動画は、画面で確認できます。

1 再生モードにする

● ▶ボタンを押します。

▶ 最後に撮影した画像が表示されます。

2 再生する動画を選ぶ

● ◀▶ボタンを押して動画を選び、FUNC/SETボタンを押します。

● 動画には［SET 動画］が表示されています。

▶ 操作パネルが表示されます。

3 再生する

● ◀▶ボタンを押して［▶］を選び、FUNC/SETボタンを押します。

● もう一度FUNC/SETボタンを押すと、一時停止／再開ができます。

● 音量は▲▼ボタンを押して調節します。

▶ 再生が終わると、［SET 動画］が表示されます。

パソコンに取り込む

付属のソフトウェアを使って、カメラで撮影した画像をパソコンへ取り込むことができます。

用意するもの

- カメラとパソコン
- 付属のCD-ROM（Canon Digital Camera Solution Disk）（p.2）
- 付属のインターフェースケーブル（p.2）

パソコンに必要なシステム構成

ソフトウェアは、以下の条件のパソコンにインストールしてください。

Windows

OS	Windows Vista（Service Pack 1を含む） Windows XP Service Pack 2
機種	上記OSがプリインストールされていて、USB接続部が標準装備されていること
CPU	Windows Vista：Pentium 1.3GHz以上 Windows XP：Pentium 500MHz以上
RAM	Windows Vista：512MB以上 Windows XP：256MB以上
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	●Canon Utilities ・ZoomBrowser EX：200MB以上 ・PhotoStitch：40MB以上
ディスプレイ	1,024×768ドット High Color（16bit）以上

Macintosh

OS	Mac OS X v10.4～v10.5
機種	上記OSがプリインストールされていて、USB接続部が標準装備されていること
CPU	PowerPC G4 / G5またはIntelプロセッサー
RAM	Mac OS X v10.5：512MB以上 Mac OS X v10.4：256MB以上
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	●Canon Utilities ・ImageBrowser：300MB以上 ・PhotoStitch：50MB以上
ディスプレイ	1,024×768ドット 32,000色以上

準備をする

このガイドでは、Windows XPとMac OS X v10.4を使って説明を進めていきます。

1 ソフトウェアをインストールする

Windows

① CD-ROMをパソコンのドライブに入れる

② インストールをはじめる

- ［おまかせインストール］をクリックし、表示される画面にしたがって操作を進めます。

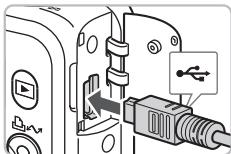
③ ［再起動］または［完了］をクリックする

- ［再起動］をクリックしたときは、パソコンが再起動します。

④ CD-ROMを取り出す

- デスクトップ画面が表示されたらCD-ROMを取り出します。

Macintosh

- CD-ROMをパソコンのドライブに入れ、CD-ROM内の［ ］をダブルクリックします。
- ▶ 左の画面が表示されます。
- ［インストール］をクリックし、表示される画面にしたがって操作を進めます。

2 カメラとパソコンをつなぐ

- カメラの電源を切ります。
- ふたを開き、ケーブルの小さいプラグを図の向きにして、カメラの端子に差し込みます。
- ケーブルの大きいプラグをパソコンのUSB接続部に差し込みます。パソコンのつなぎかたについては、パソコンの使用説明書を参照してください。

3 カメラの電源を入れる

- ▶ボタンを押して電源を入れます。
- ▶ カメラとパソコンが通信できる状態になります。

4 カメラウィンドウを表示する

Windows

- ［Canon CameraWindow］を選び［OK］をクリックします。
- ▶ カメラウィンドウが表示されます。
- 画面が表示されないときは、［スタート］メニュー ▶［すべてのプログラム］または［プログラム］▶［Canon Utilities］▶［CameraWindow］▶［CameraWindow］▶［CameraWindow］を選びます。
- ▶ カメラの画面には［ダイレクト転送］画面が表示され、⎙ボタンが青色に点灯します。

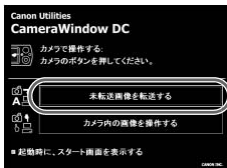
Macintosh

▶ カメラウィンドウが表示されます。

● 画面が表示されないときは、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の［CameraWindow］アイコンをクリックします。

▶ カメラの画面には［ダイレクト転送］画面が表示され、ボタンが青色に点灯します。

［ダイレクト転送］画面の表示中は撮影できません。

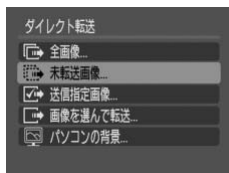
パソコンを操作して画像を取り込む

画像を取り込む

● ［未転送画像を転送する］をクリックします。

▶ パソコンに取り込まれていないすべての画像が取り込まれます。

● 取り込みが終わったら、カメラの電源を切り、ケーブルを抜きます。

● 以後の操作は、「ソフトウェアクイックガイド」を参照してください。

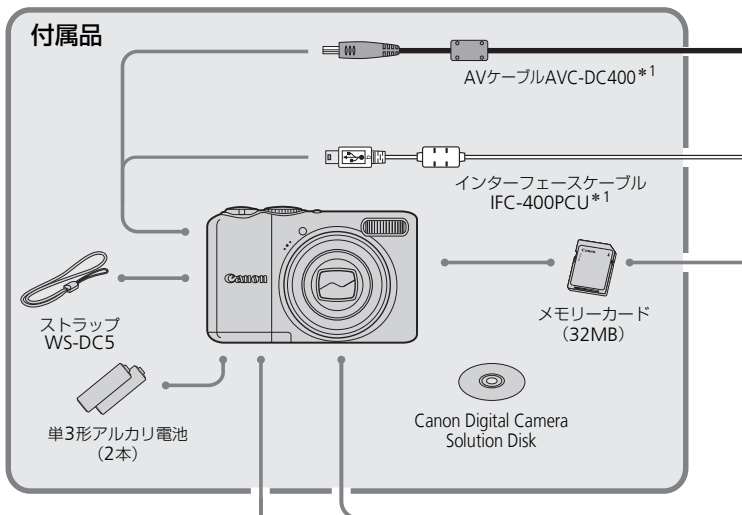
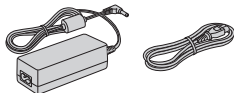
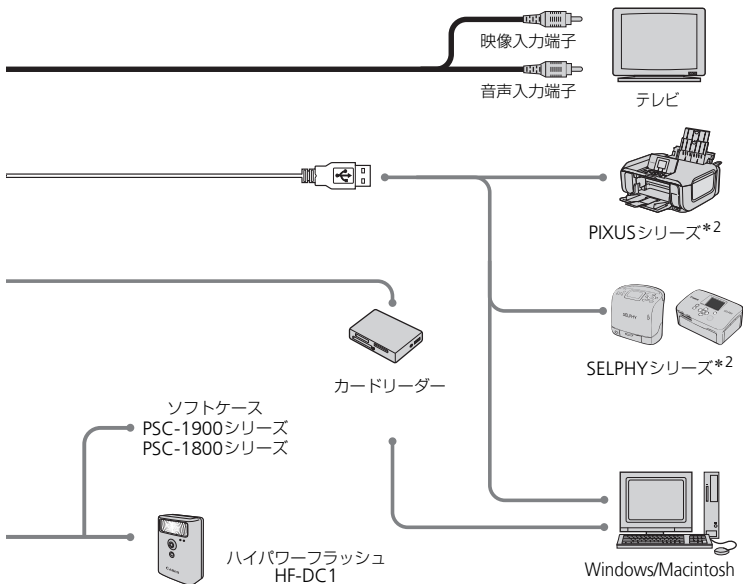
カメラを操作して画像を送る

1 ［未転送画像］を選ぶ

- ▲▼ボタンを押して［未転送画像］を選びます。
- ［ダイレクト転送］画面が表示されないときは、MENUボタンを押します。

2 画像を送る

- ボタンを押します。
- ▶ パソコンに送っていないすべての画像が送られます。
- 送り終わったら、カメラの電源を切り、ケーブルを抜きます。
- 以後の操作は、「ソフトウェアクイックガイド」を参照してください。

パソコンに送られた画像は、撮影日ごとのフォルダに分けられて、Windowsでは［マイピクチャ］フォルダに、Macintoshでは［ピクチャ］フォルダに保存されます。

アクセサリー一覧

＊1別売も用意されています。
＊2プリンターとカメラをつなぐケーブルについては、お使いになるプリンターの使用説明書を参照してください。
＊3バッテリーチャージャーキットCBK4-200もお使いになれます。

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

別売アクセサリー

必要に応じてお買い求めの上、ご利用ください。なお、アクセサリーは、諸事情により予告無く販売を終了することがあります。

電源

- **バッテリー／チャージャーキット CBK4-300**
  充電式の単3形ニッケル水素電池（4本）と専用充電器のセットです。長時間カメラをお使いになるときにおすすめします。
  電池だけの「ニッケル水素電池NB4-300」も用意されています。
- **ACアダプターキット ACK800**
  家庭用電源でカメラを使えます。カメラを長時間連続して使うときや、プリンターやパソコンとつなぐときには、このACアダプターキットをお使いになることをおすすめします（カメラ内のバッテリー／電池は充電できません）。

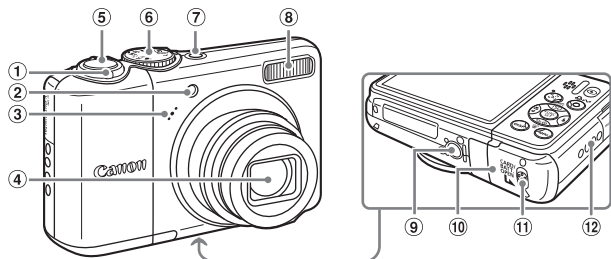
その他

- **ソフトケース PSC-1900シリーズ、PSC-1800シリーズ**
  カメラをキズやホコリから守ります。
- **ハイパワーフラッシュ HF-DC1**
  被写体が遠すぎて内蔵ストロボが届かないときに、カメラに取り付けて使用する補助ストロボです。

2

もっとカメラを知ってみよう

この章では、カメラの各部のなまえや基本的な操作方法について説明しています。

各部のなまえ

① ズームレバー
撮影時：[広角アイコン]（広角）／[望遠アイコン]（望遠）（p.22）
再生時：[インデックスアイコン]（インデックス）／Q（拡大）（p.94）
② ランプ（前面）（p.23、122）
③ マイク（p.29）
④ レンズ
⑤ シャッターボタン（p.21）
⑥ モードダイヤル
⑦ 電源ボタン
⑧ ストロボ（p.59）
⑨ 三脚ねじ穴
⑩ カード／電池収納部ふた（p.14）
⑪ ロック解除スイッチ（p.14）
⑫ ストラップ取り付け部（p.13）

モードダイヤル

撮影モードの切り換えは、モードダイヤルを回しておこないます。再生モードのときにモードダイヤルを回すと、撮影モードに切り換わります。

① スピーカー
② ランプ（背面）（p.42）
③ 画面（液晶モニター）（p.43）
④ ▶（再生）ボタン
⑤ DC IN（電源入力）端子
⑥ A / V OUT（映像／音声出力）・DIGITAL（デジタル）端子（p.26、33、100）
⑦ [顔]（フェイスキャッチ）ボタン（p.83）
⑧ ⎙～（イージーダイレクト）ボタン（p.26、124）
⑨ MENU（メニュー）ボタン（p.47）
⑩ DISP.（ディスプレイ）ボタン（p.45）
⑪ ISO（p.72）／[ジャンプ]（ジャンプ）（p.95）／▲ボタン
⑫ [マクロ]（マクロ）（p.64）／▲（遠景）（p.65）／◀ボタン
⑬ FUNC. SET（ファンクション／セット）ボタン
⑭ ⚡（ストロボ）（p.59）／▶ボタン
⑮ [連写]（連写）（p.69）／[セルフタイマー]（セルフタイマー）（p.60）／[消去]（1画像消去）（p.25）／▼ボタン

▶ボタン

レンズが出た状態では、撮影モードと再生モードを切り換えます。レンズが収納された状態では、再生モードでの電源の入/切を切り換えます。

ランプの表示

カメラ背面のランプ（p.41）は、シャッターボタンや撮影操作に連動して、点灯／点滅状態が変わります。

色	状態	操作状態
緑	点灯	撮影準備完了（p.22）／パソコン接続時／ディスプレイオフ時
	点滅	カメラ起動中、画像の記録／読み出し／消去、各種通信中
オレンジ	点灯	撮影準備完了（ストロボ発光時）（p.22）
	点滅	手ブレ警告、ストロボ充電中（p.59）

ランプ（背面）が緑色に点滅しているときは、画像の記録／読み出し／消去や各種通信をしています。「電源を切る」、「カード／電池収納部のふたを開ける」、「振動や衝撃を与える」ことは絶対にしないでください。画像、カメラ、カードが壊れることがあります。

節電機能（オートパワーオフ）

電池の消耗を防ぐため、カメラを操作しない状態で一定の時間がたつと、自動的に画面を消したり、電源を切ったりする機能です。

撮影モードでの節電機能

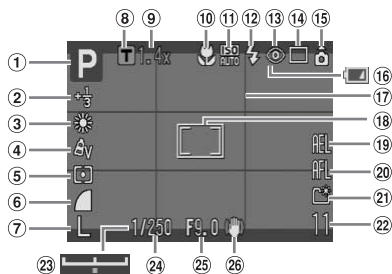
約1分間カメラを操作しないと画面が消え、さらに約3分間たつとレンズが収納されて電源が切れます。
画面が消えた状態でもレンズが出ているときは、シャッターボタンを半押し（p.21）すると画面が表示され、撮影できます。

再生モードでの節電機能

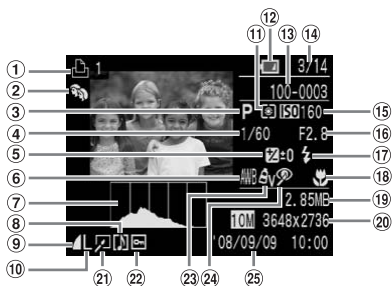
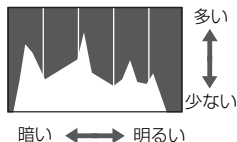
約5分間カメラを操作しないと、電源が切れます。

- 節電機能を切ることができます（p.118）。
- 画面が消えるまでの時間を変えられます（p.119）。

画面の表示内容一覧

撮影時（情報表示あり）

① 撮影モード
② 露出補正、長秒時撮影（p.74、88）
③ ホワイトバランス（p.73）
④ マイカラー（p.75）
⑤ 測光モード（p.85）
⑥ 画質（圧縮率）（p.70）
⑦ 記録画素数（p.70）
⑧ デジタルテレコンバーター（p.62）
⑨ ズーム倍率（p.61）
⑩ マクロ、遠景（p.64、65）
⑪ ISO感度（p.72）
⑫ ストロボ（p.59）
⑬ 赤目自動補正（p.122）
⑭ ドライブモード（p.60、69）
⑮ カメラの向き*（p.120）
⑯ 電池残量表示（p.16）
⑰ 撮影ガイド（p.123）
⑱ □AFフレーム（p.80）
[ ]スポット測光枠（p.85）
⑲ AEロック、FEロック（p.86、87）
⑳ AFロック（p.76）
㉑ フォルダ作成通知（p.120）
㉒ 静止画：記録可能画像数（p.17）
動画：記録可能時間／記録時間（p.29）
㉓ 露出シフト（p.91）
㉔ シャッタースピード
㉕ 絞り数値
㉖ 手ブレ補正（p.124）

* ：通常、 ：カメラを縦位置に構えたとき
カメラを真上や真下に向けると、正しく検知できないことがあります。

再生時（詳細情報表示）

① 印刷予約（p.111）
② 自動カテゴリー、マイカテゴリー（p.96）
③ 撮影モード
④ シャッタースピード
⑤ 露出補正量（p.74）
⑥ ホワイトバランス（p.73）
⑦ ヒストグラム
⑧ 音声メモ（p.107）
⑨ 画質（圧縮率）（p.70）
⑩ 記録画素数（p.70）
⑪ 測光モード（p.85）
⑫ 電池残量表示（p.16）
⑬ フォルダ番号ー画像番号（p.119）
⑭ 再生画像番号／総画像数
⑮ ISO感度（p.72）
⑯ 絞り数値
⑰ ストロボ（p.59）
⑱ マクロ、遠景（p.64、65）
⑲ ファイル容量（p.71）
⑳ 静止画：記録画素数（p.71）
動画：記録時間（p.91）
㉑ リサイズ、赤目補正（p.103、105）
㉒ プロテクト（p.102）
㉓ マイカラー（p.75）
㉔ 赤目補正（p.105、122）
㉕ 撮影日時（p.18）

ヒストグラム

- 「詳細情報表示」（p.45）のグラフは、画像中の明るさの分布を示したヒストグラムというグラフです。横軸は明るく、縦軸は明るさごとの量を示しています。また、グラフが右に寄っているときは明るい画像、左に寄っているときは暗い画像となり、露出の傾向を確認できます。

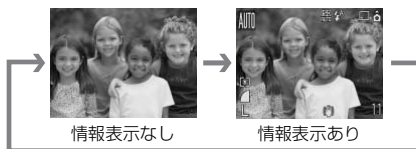
画面表示の切り換え

画面表示は、DISP.を押して切り換えます。

撮影時

情報表示なし　情報表示あり

再生時

情報表示なし　簡易情報表示　詳細情報表示　ピント確認表示（フォーカスチェッカー）

撮影直後の画面表示も、DISP.を押すと切り換えができます。ただし、簡易情報表示にはなりません。最初に表示される画面は、MENUを押して［］タブの［レビュー情報］で設定します。

撮影時の暗い場所での画面表示

暗い場所では、自動的に画面が明るくなって構図確認しやすくなります（ナイトビュー機能）。ただし、撮影される画像の明るさとは異なる他、粗い感じ、またはややぎこちない表示になることがあります（記録される画像に影響はありません）。

再生時の高輝度（ハイライト）警告

詳細情報表示にすると、画像上の白トビした個所が点滅表示されます。

FUNC.メニューの基本操作

撮影時によく使う機能は、FUNC.メニューで設定できます。メニュー項目や内容は撮影モード（p.40）によって変わります。

1 撮影モードを選ぶ

- モードダイヤルを目的の撮影モードにあわせます。

2 FUNC.メニューを表示する

- を押します。

メニュー項目

3 メニュー項目を選ぶ

- ▲▼を押してメニュー項目を選びます。
- ▶ 選んだメニュー項目の内容が、画面の下部に表示されます。

4 項目を選ぶ

- ◀▶を押して目的の項目を選びます。
- メニュー項目を選んだあと、DISP.を押して設定する項目もあります。

5 設定して終了する

- FUNC./SETを押します。
- ▶ 撮影画面に戻り、設定した項目が画面に表示されます。

各撮影モードとFUNC.メニューの組み合わせは134 ページを参照してください。

メニューの基本操作

カメラの各種機能はメニューで設定できます。メニュー項目はタブで系統別に分けられ、表示される内容は撮影モード（p.40）や再生モード（p.41）によって変わります。

1 メニューを表示する

- MENUを押します。

2 タブを選ぶ

- ◀▶ を押してタブを選びます。
- ズームレバー（p.40）を左右に動かして選ぶこともできます。

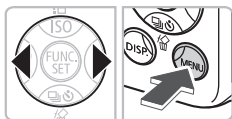
3 メニュー項目を選ぶ

- ▲▼を押してメニュー項目を選びます。
- メニュー項目を選んだあと FUNC/SET を押して画面を切り換え、設定する項目もあります。

4 内容を選ぶ

- ◀▶ を押して内容を選びます。

5 設定を終了する

- MENUを押します。
- ▶ 通常の画面に戻ります。

タブ別のメニュー一覧は136 ページを参照してください。

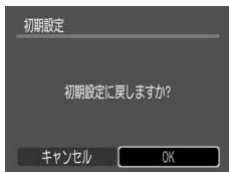
カメラの設定を初期状態に戻す

カメラの設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます。

1 メニューを表示する

- (MENU)を押します。

2 [初期設定] を選ぶ

- ◀▶を押して [𝐘𝐓] タブを選びます。
- ▲▼を押して [初期設定] を選び、(FUNC./SET)を押します。

3 初期状態に戻す

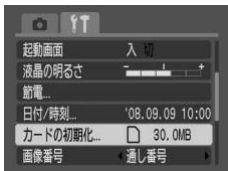
- ◀▶を押して[OK]を選び、(FUNC./SET)を押します。

▶ カメラが初期状態に戻ります。

初期状態に戻らない機能は？

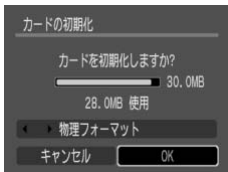
- **FUNC.メニュー**
  マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ（p.73）
- **[𝐘𝐓] タブ**
  [日付/時刻]（p.18）、[言語]（p.20）、[ビデオ出力方式]（p.100）

カードを初期化する

新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）することをおすすめします。
初期化をすると、カード内のすべてのデータが消され、もとに戻すことはできません。十分に確認してから初期化してください。

1 メニューを表示する

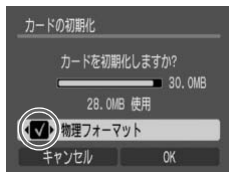
- (MENU)を押します。

2 ［カードの初期化］を選ぶ

- ◀▶を押して［🔧］タブを選びます。
- ▲▼を押して［カードの初期化］を選び、(FUNC/SET)を押します。

3 初期化する

- ◀▶を押して[OK]を選び、(FUNC/SET)を押します。
- ▶カードが初期化されます。
- ▶初期化が終わるとメニュー画面に戻ります。

物理フォーマット

カードへの画像記録／再生時の読み出し速度が遅くなったときなどにおこないます。

- 前ページの手順1、2の操作で［カードの初期化］画面を表示します。
- ▲▼ を押して［物理フォーマット］を選び、◀▶を押して［ ✓ ］を表示します。
- ▲▼◀▶を押して［OK］を選び、(FUNC/SET)を押します。

▶ 物理フォーマットがはじまります。

初期化について

- 付属のカードはあらかじめ初期化されています。
- ［カードが異常です］のメッセージが表示されたときや、カメラが正しく動かないときは、カードを初期化すると使えるようになることがあります。その際、カード内の画像をパソコンなどにコピーしてから初期化してください。

カード内のデータは初期化や消去をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで完全には消えません。譲渡や廃棄するときは注意してください。廃棄するときはカードを破壊するなどして、個人情報の流出を防いでください。

- ［カードの初期化］画面に表示されるカードの総容量は、カードに表記されている容量よりも少なくなることがあります。
- 物理フォーマットはカード内の全記憶領域を初期化するため、通常の初期化よりも時間がかかります。
- 物理フォーマット中に［中止］を選ぶと、初期化を中止できます。中止してもデータはすべて消去されますが、カードは問題なく使えます。

音の設定を変える

各ボタンを押したときや撮影のときに鳴る音を、鳴らないようにしたり、音量を変えたりできます。

音を鳴らさない

1 メニューを表示する

- MENUを押します。

2 [消音] を選ぶ

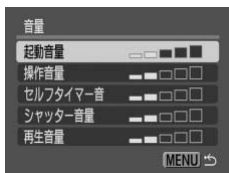
- ◀▶ を押して[YT]タブを選びます。
- ▲▼を押して[消音]を選び、◀▶ を押して[入]を選びます。

音の設定を変える

1 メニューを表示する

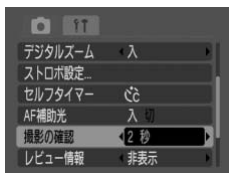
- MENUを押します。

2 [音量] を選ぶ

- ◀▶を押して[YT]タブを選びます。
- ▲▼を押して[音量]を選び、FUNC/SETを押します。

3 音量を変える

- ▲▼を押して項目を選び、◀▶を押して音量を変えます。

撮影後の画像表示時間を変える

撮影直後に画像が表示される時間を変えられます。

1 メニューを表示する

- (MENU)を押します。

2 ［撮影の確認］を選ぶ

- ◀▶を押して［📷］タブを選びます。
- ▲▼を押して［撮影の確認］を選び、◀▶を押して表示時間を選びます。
- ［切］を選ぶと画像は表示されません。
- ［ホールド］を選ぶと、シャッターボタンを半押しするまで画像を表示します。

3

いろいろなシーンや よく使う機能で撮ってみよう

この章では、初心者におすすめのらくらくモードやシーンに最適な設定で撮影できるシーンモードを説明します。また、ストロボ、セルフタイマーなどのよく使う機能についても説明しています。

- この章は、AUTO（オート）を前提に説明しています。他の撮影モードについては、「撮影機能/FUNC.メニュー 一覧」で確認してください(p.134)。

とにかくかんたんに撮る（らくらくモード）

モードダイヤルを（らくらくモード）にあわせると、シャッターボタンを押すだけのらくらく撮影ができます。カメラが自動で最適な機能設定をおこなうので、どんなシーンでも迷わずに撮影できます。

1 撮影モードを選ぶ

- モードダイヤルをにあわせます。

2 撮影する

- **人物の撮影もらくらく**

  人物を撮るときは、顔を自動で検出してピントを合わせるので、大切な表情もしっかりとらえます。

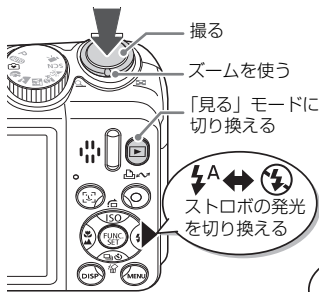
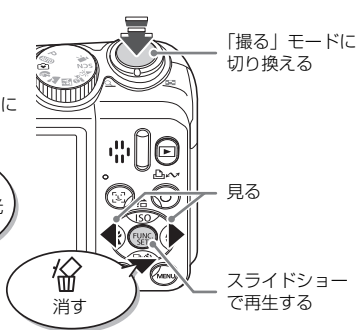
- **近くのものの撮影もらくらく**

  近くのものを撮るときも、ピントずれの心配がありません。

- **見るのもらくらく**

  ▶を押すと撮った画像を見ることができます。画面にガイダンスが表示されるので、安心して画像を確認できます。

らくらくモードでできること

らくらくモードでは、以下の操作ができます。この他のボタンはお使いになれないため、誤った操作をする心配がありません。

撮る（撮影モード）　**見る（再生モード）**

撮影シーンにあわせて撮る

モードダイヤルを撮りたいシーンにあわせるだけで、最適な撮影ができるようにカメラが自動的に設定をおこないます。

1 撮影モードを選ぶ

- モードダイヤルを撮りたいシーンにあわせます。

2 撮影する

人物を撮る（ポートレート）

- 人物をやわらかい感じで撮影できます。

風景を撮る（風景）

- 広がりや奥行きのある風景として撮影できます。

夜景と人物を明るく撮る（ナイトスナップ）

- 人物とその背景にある美しい夜の街並みや、夜景を明るくきれいに撮影できます。
- カメラをしっかりと構えれば、三脚がなくても手ブレを軽減して撮影できます。

子供やペットを撮る（キッズ&ペット）

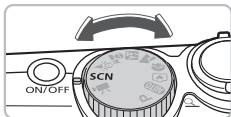
- 子供やペットなど動きまわる被写体でも、シャッターチャンスを逃さずに撮影できます。

室内で撮る（パーティ／室内）

- 室内でのイベントやパーティなどの1コマを、自然な色あいで撮影できます。

では、ISO感度（p.72）が高くなるため、粗い感じの画像になることがあります。

SCN 特別なシーンで撮る

特別な撮影シーンにあったモードにするだけで、最適な撮影ができるようにカメラが自動的に設定をおこないます。

1 撮影モードを選ぶ

- モードダイヤルを**SCN**にあわせて、FUNC.SETを押します。

- ▲▼を押して［ ］を選び、◀▶で撮影モードを選びます。
- FUNC.SETを押します。

2 撮影する

夜景を撮る（夜景）

● 美しい夜の街並みや夜景を、明るくきれいに撮影できます。

夕焼けを撮る（夕焼け）

● 夕焼けを色鮮やかに撮影できます。

木々や葉を色鮮やかに撮る（新緑／紅葉）

● 新緑や紅葉、桜など自然の木々や葉を、色鮮やかに撮影できます。

雪景色で人物を撮る（スノー）

● 雪景色を背景に、人物を明るく自然な色あいで撮影できます。

砂浜で人物を撮る（ビーチ）

● 太陽の光の反射が強い砂浜で、人物を明るく撮影できます。

花火を撮る（打ち上げ花火）

● 打ち上げ花火を色鮮やかに撮影できます。

水槽の中の生き物を撮る（水族館）

● 水族館などの水槽の中にいる生き物を、自然な色あいで撮影できます。

高感度で撮る（ISO3200）

● ISO感度が3200に設定されてシャッタースピードが速くなるため、暗い場所でも被写体ブレや手ブレをおさえて撮影できます。

● 記録画素数はM3（1600×1200画素）に固定されます。

- ［ ］では、撮影シーンによってはISO感度（p.72）が高くなるため、画像が粗くなることがあります。
- ［ ］［ ］では、手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。三脚などでカメラを固定するときは、［手ブレ補正］を［切］にして撮影することをおすすめします（p.124）。
- ［ ］で人物も一緒に撮るときは、ストロボ発光後もシャッター音がするまでは写される人が動かないようにしてください。
- ［ ］では画像が粗くなります。

ストロボを発光させない

ストロボを発光させないで撮影できます。

1 ▶を押す

2 [ ] を選ぶ

- ◀▶を押して[ ]を選び、(FUNC SET)を押します。
- ▶ 画面に［ ］が表示されます。
- 撮影後は手順2の操作で［ $⚡^A$ ］を選びます。

? ランプがオレンジ色に点滅し、[ ] が点滅表示したときは？

手ブレしやすい暗い場所では、シャッターボタンを半押ししたときにランプ（背面）がオレンジ色に点滅し、画面に［ ］が点滅表示されます。カメラが動かないように、三脚などでカメラを固定してください。

⚡ ストロボを発光させる

AUTO以外の撮影モードを選び、ストロボを常に発光させて撮影できます。

- 上記の「ストロボを発光させない」の手順2の操作で、［⚡］を選びます。
- ストロボ撮影できる範囲は、ズームレバーが[W]側では約30cm～3.5m、[T]側では約50cm～2.0mです。
- 撮影後は手順2の操作で［ $⚡^A$ ］を選びます。

⏲ セルフタイマーを使う

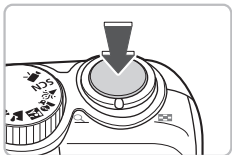
集合写真などで撮影する人も一緒に写るときなどは、セルフタイマーを使って撮影します。

1 ▼を押す

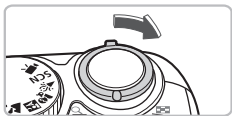
2 タイマーを選ぶ

- ▲▼を押して、10秒後に撮るときは［⏲10］、2秒後に撮るときは［⏲2］を選びます。
- (FUNC/SET)を押します。
- ▶ 画面に設定したタイマーが表示されます。

3 撮影する

- シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを全押しします。
- ▶ タイマーがはじまるとランプ（前面）が点滅して、電子音が鳴ります。
- ▶ 撮影の2秒前にランプ（前面）の点滅と電子音が速くなります。
- 撮影後は手順2の操作で［□］を選びます。

タイマーの時間と撮影する枚数を変えられます（p.78）。

遠くの被写体を拡大する

光学ズーム（p.22）で被写体が大きく撮れないときは、デジタルズームを使って、最大24倍相当まで拡大できます。ただし、設定した記録画素数（p.70）とデジタルズームの倍率によっては、画像が粗くなります。

1 ズームレバーを[♠]側へ押す

● ズームできるところまでズームレバーを押し続けます。

2 ズームレバーを放し、もう一度[♠]側へ押す

▶ デジタルズームで被写体がさらに拡大されます。

デジタルズームで画像が粗くなる領域

記録画素数	光学ズーム	デジタルズーム
L	6.0x➔	
M1	6.0x➔	
M2		8.4x➔
M3		14x➔
S		24x➔

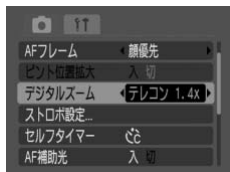
□ ▒ ：画像が粗くならない領域／ズーム倍率は白で表示
■ ：画像が粗くなる領域／ズーム倍率は青色で表示
➔ ：ズームがいったん停止する倍率（セーフティーズーム）

デジタルズームを切る

デジタルズームを使わないようにするには、(MENU)を押して［●］タブの［デジタルズーム］を選び、［切］を選びます。

デジタルズーム時の焦点距離は、36～864mm相当です（35mmフィルム換算）。

デジタルテレコンバーター

レンズの焦点距離を1.4倍／2.3倍相当にできます。ズーム操作（デジタルズーム含む）で同じ倍率に拡大したときよりも、シャッタースピードが速くなるため手ブレを軽減できます。
ただし、設定した記録画素数（p.70）とテレコンバーターの組み合わせによっては、画像が粗くなります。

1 ［デジタルズーム］を選ぶ

- MENUを押します。
- ［撮影］タブから▲▼を押して［デジタルズーム］を選びます。

2 設定する

- ◀▶を押して、［テレコン1.4x］か［テレコン2.3x］を選びます。
- MENUを押して撮影画面に戻ります。
- ▶ 被写体が拡大表示されて、［T］と倍率が表示されます。
- 撮影後は［デジタルズーム］で［入］を選びます。

画像が粗くなる記録画素数との組み合わせ

- ［テレコン 1.4x］では、記録画素数が［L］［M1］では倍率が水色で表示され、画像が粗くなります。
- ［テレコン 2.3x］では、記録画素数が［L］［M1］［M2］では倍率が水色で表示され、画像が粗くなります。

- 1.4倍／2.3倍時の焦点距離はそれぞれ50.4～302.4mm／82.8～496.8mm相当です（35mmフィルム換算）。
- デジタルズームとは一緒に使えません。

日時を入れる

画像の右下に撮影日時を記録できます。ただし、いったん記録された撮影日時は消せません。あらかじめ日付／時刻が正しく設定されていることを確認してください（p.18）。

1 記録画素数を選ぶ

- (FUNC/SET)を押します。
- ▲▼を押して［ L ］を選びます。

2 ［ ］を選ぶ（p.70）

- ◀▶を押して［ ］を選びます。
- 日付＋時刻を入れたい場合は、(DISP) を押して◀▶で［日付＋時刻］を選び、(FUNC/SET)を押します。

3 撮影する

- 画面上下の灰色の部分は印刷されません。灰色の部分が被写体にかからないようにして撮影します。

［ ］以外で撮った画像に日付を入れて印刷するには

- **印刷指定（DPOF）機能を使って印刷する（p.111）**
- **付属のソフトウェアを使って印刷する**
  「ソフトウェアクイックガイド」を参照してください。
- **カメラとプリンターを接続して印刷する**
  「ダイレクトプリントユーザーガイド」を参照してください。

- ［ ］で撮影した画像は記録画素数が少ないため、L判やはがきサイズより大きな用紙に印刷すると粗い写真になります（p.71）。
- 画面上下の灰色の部分は、印刷されない領域を示しています。実際の画像はフル画面で記録されます。

近くの被写体を撮る（マクロ撮影）

近くの被写体を撮影したり、被写体に近づいて撮影したりできます。撮影できる範囲は、レンズ先端から約1～50cmです。

1 ◀を押す

2 ［マクロ］を選ぶ

- ◀▶を押して［マクロ］を選び、FUNC.SETを押します。
- ▶ 画面に［マクロ］が表示されます。
- 撮影後は手順 2 の操作で［AF］を選びます。

ズームレバーを操作したときのバー表示について

- ズームレバーを操作すると画面にズームバーが表示されます。マクロ撮影では、黄色のバー表示の範囲はピントが合いません。
- 黄色のバー表示の範囲では［マクロ］が灰色表示になり、通常の［AF］で撮影されます。

［セルフタイマー2秒］を使う

三脚などでカメラを固定して撮影するときは、シャッターボタンを押したときの手ブレを防ぐため［セルフタイマー2秒］をおすすめします。

ストロボが光ると、画像の周辺部が暗くなることがあります。

▲ 遠くの被写体を撮る（遠景）

AUTO以外の撮影モードを選び、レンズ先端から被写体までの距離が約3m以上離れているときに使います。

- AUTO以外の撮影モードを選び、前ページの「近くの被写体を撮る（マクロ撮影）」の手順2の操作で、［▲］を選びます。
- 画面に［▲］が表示されます。
- 撮影後は前ページの手順2の操作で［▲］を選びます。

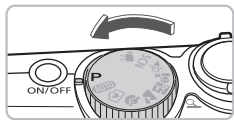
4

目的の設定にして撮ってみよう

この章では、**P**（プログラムAE）を使った撮影や、カメラのいろいろな機能を使った撮影方法について説明しています。

- この章は、**P**（プログラム AE）で説明しています。他の撮影モードについては、「撮影機能/FUNC.メニュー 一覧」で確認してください（p.134）。

P プログラムAE撮影

カメラの基本機能は自動設定されますが、AUTO（オート）やシーンモードとは違い、いろいろな機能を自分好みに設定して撮影できます。
＊ AEは、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。

1 モードダイヤルをPにする

2 目的に応じて各機能を設定する（p.69～78）

3 撮影する

シャッタースピードと絞り数値が赤字で表示されたときは？

シャッターボタンを半押ししたときに適正露出が得られないと、シャッタースピードと絞り数値が赤色で表示されます。以下の設定で、適正露出が得られることがあります。

- ストロボを発光させる（p.59）
- ISO感度を高くする（p.72）
- 測光モードを変える（p.85）

連続して撮る

一定の間隔（約1.3枚／秒）で連続撮影できます。

1 ▼を押す

2 [ ] を選ぶ

- ▲▼で［ ］を選び、(FUNC. SET)を押します。

3 撮影する

▶ シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。

カード容量がいっぱいになるまで撮影したい

カードを物理フォーマット（p.50）すると、カードの容量がいっぱいになるまで連続撮影できます。

- 撮影枚数が多くなると、撮影間隔が長くなることがあります。
- ストロボが発光するときは、撮影間隔が長くなります。

記録画素数（画像の大きさ）を変える

画像の記録画素数を7種類から選べます。

1 記録画素数を選べ

- (FUNC.SET)を押して、▲▼で［L］を選びます。

2 項目を選ぶ

- ◀▶で目的の項目を選び、(FUNC.SET)を押します。

- ［ ］［W］では、デジタルズーム（p.61）、デジタルテレコンバーター（p.62）は使えません。
- ［ ］の灰色の部分は、印刷されない領域を示しています。実際の画像はフル画面で記録されています。

画質（圧縮率）を変える

画質を3種類から選べます。高画質から順に［S］（スーパーファイン）、［ ］（ファイン）、［ ］（ノーマル）になります。

1 画質を選ぶ

- (FUNC.SET)を押して、▲▼で［ ］を選びます。

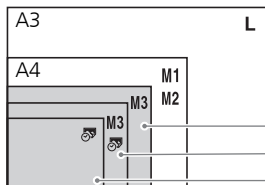
2 項目を選ぶ

- ◀▶で目的の項目を選び、(FUNC.SET)を押します。

記録画素数と画質を選ぶときの目安

記録画素数（ピクセル）	画質	1枚の容量（約・KB）	撮影できる枚数		
			32MB（付属品）	2GB	8GB
L（ラージ）10M/3648x2736	S	4332	6	448	1792
		2565	11	749	2994
		1226	23	1536	6140
M1（ミドル1）6M/2816x2112	S	2720	10	714	2855
		1620	17	1181	4723
		780	37	2363	9446
M2（ミドル2）4M/2272x1704	S	2002	14	960	3837
		1116	26	1707	6822
		556	52	3235	12927
M3（ミドル3）2M/1600x1200	S	1002	29	1862	7442
		558	52	3235	12927
		278	99	6146	24562
S（スモール）0.3M/640x480	S	249	111	6830	27291
		150	171	10245	40937
		84	270	15368	61406
（日付写し込み）2M/1600x1200		558	52	3235	12927
W（ワイド）3648x2048	S	3243	8	596	2384
		1920	15	1007	4026
		918	31	2048	8187

- 表内の数値は当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。

用紙サイズに対する目安

- ［ S ］は、電子メールで画像を送るときなどに適しています。
- ［W］はワイドサイズ用紙用です。

ISO感度を変える

1 ▲を押す

2 項目を選ぶ

- ▲▼で目的の項目を選び、(FUNC. SET)を押します。

ISO感度を選ぶときの目安

<table>
<tr><td>ISO AUTO</td><td colspan="2">撮影モードと周囲の明るさに応じて自動設定。</td></tr>
<tr><td>ISO HI</td><td colspan="2">撮影モードと周囲の明るさの他、被写体やカメラの動きも検知して自動設定。
撮影シーンによっては、オートに比べ感度が高めに設定され、被写体ブレや手ブレも低減されます。</td></tr>
<tr><td>ISO 80　ISO 100　ISO 200</td><td rowspan="3">低い
↕
高い</td><td>晴天の屋外</td></tr>
<tr><td>ISO 400　ISO 800</td><td>曇り空
夕方</td></tr>
<tr><td>ISO 1600</td><td>夜景
暗い室内</td></tr>
</table>

ISO感度を変えるときの目安

- ISO感度を低くすると、粗さが目立たない画像になります。
- ISO感度を高くすると、シャッタースピードが速くなるため、手ブレが軽減されたり、ストロボの光が遠くの被写体まで届くようになりますが、画像が粗くなります。

- ［ISO AUTO］［ISO HI］では、シャッターボタンを半押しすると、自動設定されたISO感度が画面に表示されます。
- より高感度なISO3200に設定することもできます（p.58）。

色あいを調整する（ホワイトバランス）

ホワイトバランス（WB）は、自然な色あいにする機能です。

1 ホワイトバランスを選ぶ

- (FUNC/SET)を押して、▲▼で［AWB］を選びます。

2 項目を選ぶ

- ◀▶で目的の項目を選び、(FUNC/SET)を押します。
- 撮影後は［AWB］に戻します。

AWB	オート	撮影する場所に応じて自動設定
☀	太陽光	晴天の屋外
☁	くもり	曇天や日陰、薄暮
電球アイコン	電球	電球、電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯
蛍光灯アイコン	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3波長型）の蛍光灯
蛍光灯Hアイコン	蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3波長型）の蛍光灯
マニュアルアイコン	マニュアル	手動設定

マイカラー（p.75）が［Se］［BW］のときは、設定できません。

マニュアルホワイトバランス

撮影場所の光源にあわせてホワイトバランスを変更し、撮影時の光源に適した色で撮影できます。撮影場所の光源のもとで設定してください。

- 上記の手順 2 の操作で［マニュアル］を選んだ状態で、画面いっぱいに白い無地の被写体が入るようにして、(DISP.)を押します。
- ▶ 白データが取り込まれて設定されると、画面の色あいが変わります。
- 撮影後は［AWB］に戻します。

明るさを変える（露出補正）

カメラが決めた標準的な露出を1/3段ずつ、±2段の範囲で補正できます。

1 露出補正を選ぶ

- (FUNC/SET)を押して、▲▼で［±0］を選びます。

2 明るさを補正する

- 画面の表示を見ながら、◀▶で明るさを補正し、(FUNC/SET)を押します。
- 撮影後は［0］（ゼロ）に戻します。

画像の色調を変える（マイカラー）

通常の撮影画像とは違った印象の画像にしたり、セピア調や白黒画像に変えたりできます。

1 マイカラーを選ぶ

- (FUNC/SET)を押して、▲▼で［OFF］を選びます。

2 項目を選ぶ

- ◀▶で目的の項目を選び、(FUNC/SET)を押します。
- 撮影後は［OFF］に戻します。

OFF	マイカラーOFF	—
V	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした印象の色あいになります。
N	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした印象の色あいになります。
Se	セピア	セピア調になります。
BW	白黒	白黒になります。
C	カスタムカラー	画像のコントラスト（明暗差）、シャープネス（先鋭度）、色の濃さを5段階から自分好みに設定できます。

C カスタムカラー

- 上記の手順2の操作で［C］を選び、(DISP.)を押します。
- ▲▼で項目を選び、◀▶で値を設定し、(FUNC/SET)を押します。
- 設定値が右側に行くほど強く／濃くなり、左に行くほど弱く／薄くなります。

構図を変えて撮る（フォーカスロック撮影）

シャッターボタンを半押ししている間はピントと露出が固定され、そのまま構図を変えて撮影できます。これをフォーカスロック撮影といいます。

1 ピントを合わせる

- 撮りたいものを画面の中央にして、シャッターボタンを半押しします。
- AF フレームが、被写体に緑色で表示されていることを確認してください。

2 構図を変える

- シャッターボタンを半押ししたまま、構図を変えます。

3 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。

テレビを使って撮る

カメラの画面表示をテレビに表示して撮影できます。

- 「テレビで見る」（p.100）の手順でカメラとテレビをつなげ、撮影モードにして撮影します。
- 撮影操作は、カメラの画面を使ったときと同じです。

セルフタイマーの時間と撮影枚数を変える

撮影されるまでのタイマー時間（0～30秒）と、撮影枚数（1～10枚）を設定できます。

1 ▼を押す

2 [ ] を選ぶ

- ▲▼で[ ]を選び、すぐに(MENU)を押します。

3 設定する

- ▲▼で項目を、◀▶で数値を選び、(FUNC. SET)を押します。

撮影枚数を2枚以上にしたときは？

- 露出やホワイトバランスは、1枚目の撮影で固定されます。
- タイマー時間を2秒以上にしたときは、撮影の2秒前にランプの点滅と電子音が速くなります。

- ストロボが発光するときは、撮影間隔が長くなります。
- 撮影枚数を多くすると、撮影間隔が長くなることがあります。
- カードの容量がいっぱいになると自動的に撮影を終了します。

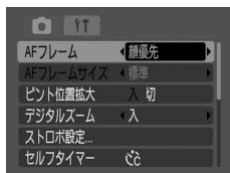
5

もっとカメラを使いこなそう

この章では4章の応用編として、さらに多くの機能を使った撮影方法について説明しています。

- この章は、**P**（プログラム AE）で説明しています。他の撮影モードについては、「撮影機能/FUNC.メニュー 一覧」で確認してください（p.134）。

AFフレームを変える

撮影目的にあわせて、AF（自動ピント合わせ）の機能を変えられます。

1 ［AFフレーム］を選ぶ

- MENUを押して［📷］タブを選びます。
- ▲▼で［AFフレーム］を選びます。

2 設定する

- ◀▶で目的の項目を選びます。

顔優先

- 人物の顔を検出して、ピント、露出（評価測光時のみ）、ホワイトバランス（AWB時のみ）を合わせて撮影します。
- カメラを被写体に向けると、主被写体と判断した顔に白色のフレーム、他の顔には最大2つの灰色のフレームが表示されます。そのままシャッターボタンを半押しすると、ピントが合った顔には緑色のフレーム（最大9個）が表示されます。

- 顔が検出されないときや、白色のフレームが表示されず灰色のフレームのみが表示されたときは、自動的に［AiAF］になります。
- 顔として検出できない例
  - 被写体までの距離が遠い、または極端に近い
  - 被写体が暗い、または明るい
  - 顔が横や斜めを向いている、または一部が隠れている
- 人物の顔以外を、誤って検出することがあります。
- シャッターボタンを半押ししてもピントが合わないときは、AF フレームは表示されません。

AiAF

9個のAFフレームから、自動的にAFフレームを選んでピントを合わせます。

シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、AFフレームは表示されません。

中央

AFフレームが中央1点になります。確実なピント合わせに有効です。

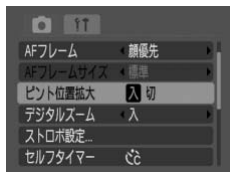
AFフレームを小さくする

MENUを押して、［］タブの［AFフレームサイズ］で［小］を選びます。

- デジタルズームやデジタルテレコン使用時は、［標準］に設定されます。

シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、AFフレームは黄色で表示されます。

ピントや人物の表情を確認する（ピント位置拡大表示）

AFフレーム内を拡大表示して、ピント位置や人物の表情を確認しながら撮影できます。
人物の表情を捉えたいときはAFフレーム（p.80）を［顔優先］に、マクロ撮影するときは［中央］にして、ピントを確認しながら撮影することをおすすめします。

1 ［ピント位置拡大］を選ぶ

- MENUを押して［📷］タブを選びます。
- ▲▼で［ピント位置拡大］を選びます。

2 設定する

- ◀▶で［入］を選び、MENUを押します。

3 ピントを確認する

- シャッターボタンを半押しし、ピントを確認します。
- AF フレームが［顔優先］のときはカメラが主被写体と判断した顔を、［中央］のときは画面中央が拡大表示されます。

4 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。

次の場合は、拡大表示されません。
- AFフレームが［AiAF］のとき
- AFフレームが［顔優先］の場合、顔が検出されなかったときや画面全体に対して顔が大きすぎるとき
- ピントが合わないとき
- デジタルズームを使用しているとき
- テレビに表示しているとき

ピントを合わせたい人物を選んで撮る（顔セレクト）

特定の人物の顔を選んでピントを合わせ、撮影できます。

1 顔セレクトモードにする

- 人物にカメラを向け、を押します。
- ▶ 顔セレクトモードになり、ピントを合わせる顔に白色の顔枠［ ］が表示されます。顔枠は、人物が動いても一定の範囲で追尾します。

2 ピントを合わせたい顔を選ぶ

- を押して、ピントを合わせたい人物に顔枠を移動します（検出した顔を一巡すると顔セレクトモードが解除されます）。
- を押し続けると、カメラが検出したすべての顔に枠（最大35個）を表示します（緑色：ピントを合わせたい顔、白色：検出した顔）。

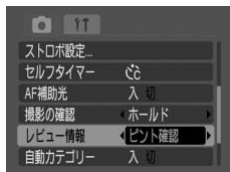
3 撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合っている顔の顔枠が緑色の［□］に変わります。
- シャッターボタンを全押しして撮影します。

次の場合は、顔セレクトモードが解除されます。

- 電源を入れ直したり、撮影モードを変更したとき
- メニュー画面を表示したとき
- デジタルズームやデジタルテレコンを使用したとき
- 記録画素数を［W］に変更したとき
- 顔が検出されなくなったとき

撮影直後にピント位置を確認する（フォーカスチェッカー）

撮影直後に、撮りたいものにピントが合っているかどうかを確認できます。あらかじめ［■］タブの［撮影の確認］を［ホールド］に設定しておくことをおすすめします。

1 ［レビュー情報］を選ぶ

- MENUを押して［■］タブを選びます。
- ▲▼で［レビュー情報］を選びます。

2 設定する

- ◀▶で［ピント確認］を選び、MENUを押します。

撮影した画像

オレンジ色のフレーム内を表示

3 撮影する

▶ 撮影した画像が表示され、ピント合わせをおこなったAFフレームや顔の位置に白色のフレーム、画面右下にはオレンジ色のフレーム内が表示されます。

4 ピントを確認する

- 白色のフレームが複数あるときは、FUNC/SETまたは[:]で画面右下の表示を切り換えて確認します。
- ズームレバーをQ側に押すと、オレンジ色のフレーム内を拡大できます。
- シャッターボタンを半押しすると、撮影画面に戻ります。

ピント確認中（手順3の画面表示時）に⌂を押すと、画像を消去できます。

測光モードを変える

撮影目的にあわせて、測光モード（明るさを測る特性）を変えられます。

1 測光モードを選ぶ

- (FUNC SET)を押して、▲▼で［(評価測光)］を選びます。

2 項目を選ぶ

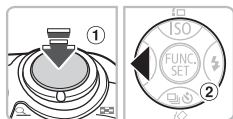
- ◀▶で目的の項目を選び、(FUNC SET)を押します。

(評価測光)	評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。撮影シーンに応じて、被写体が常に適正露出になるように自動補正します。
[ ]	中央部重点平均測光	画面中央部に重点をおいて、画面全体を平均的に測光します。
[•]	スポット測光	画面中央に表示される［[ ]］（スポット測光枠）の範囲のみを測光します。

AFL AFロックで撮る

ピントを固定できます。固定後はシャッターボタンから指を放しても、ピント位置は固定されたままになります。

1 ピントを合わせる

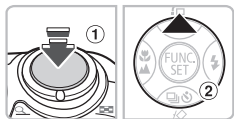
- 撮りたい被写体と同じ撮影距離にある別の被写体にAFフレームをあわせます。

2 ピントを固定する

- シャッターボタンを半押ししたまま①、◀を押します②。
- ▶ピントが固定され、画面に［AFL］が表示されます。

3 構図を決めて撮影する

- 撮影後は◀を押し、解除します。

AEL AEロックで撮る

露出を固定して撮影できます。ピントと露出を個別に設定できます。

1 露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押ししたまま①、▲を押します②。
- ▶［AEL］が表示され、露出が固定されます。

2 構図を決めて撮影する

- 撮影後は▲を押し、解除します。

FEL FEロックで撮る

ストロボ撮影時の露出を、AEロック（p.86）と同様に固定できます。

1 ［⚡］を選ぶ（p.59）

2 ストロボ露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押ししたまま①、▲を押します②。
- ▶ストロボが発光し、［FEL］が表示され、ストロボ発光量が記憶されます。

3 構図を決めて撮影する

- 撮影後は▲を押し、解除します。

シャッタースピードを遅くする（長秒時撮影）

シャッタースピードを遅くすると、暗い被写体を明るく撮影できます。手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないよう固定してください。

1 長秒時撮影を選ぶ

- (FUNC/SET)を押して、▲▼で［±0］を選び、(DISP.)を押します。

2 シャッタースピードを選ぶ

- ◀▶でシャッタースピードを選び、(FUNC/SET)を押します。
- 数値が大きいほどシャッタースピードは遅くなり、撮影される画像が明るくなります。

三脚などでカメラを固定するときは、［手ブレ補正］を［切］にして撮影することをおすすめします（p.124）。

6

動画のいろいろな機能を使ってみよう

この章では、いろいろな機能を使って動画を撮る、見る方法について説明しています。

- モードダイヤルを'▀にあわせてから操作してください。

動画モードを変える

1 動画モードを選ぶ

● (FUNC SET)を押して、▲▼で［📹］を選びます。

2 項目を選ぶ

● ◀▶で目的の項目を選び、(FUNC SET)を押します。

📹	スタンダード	標準モードです。撮影中にズーム操作をおこなうと、デジタルズームが使えます（p.61）。
📹✉	ライト	記録画素数を少なくしたモードです。撮影中にズームは使えません。

📹の画質を変える

1 画質を選ぶ

● (FUNC SET)を押して、▲▼で［640］を選びます。

2 項目を選ぶ

● ◀▶で目的の項目を選び、(FUNC SET)を押します。

▶ 設定した項目が画面に表示されます。

モードと画質の一覧

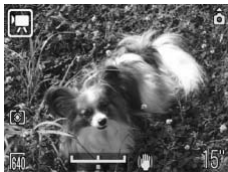
モード	画質（記録画素数／フレーム数）		内容
📹	640	640×480画素／30フレーム/秒	標準的な動画です。
	640 LP	640×480画素／30フレーム/秒 LP	［640］より画質は粗くなりますが、撮影時間を約2倍にできます。
	320	320×240画素／30フレーム/秒	［640］より記録画素数が小さくなるため、画質は粗くなりますが、撮影時間を約3倍にできます。
📹✉	160	160×120画素／15フレーム/秒	容量が小さくなるため、メールに添付するときなどに適しています。

撮影時間の目安

モード	画質	撮影時間		
		32MB（付属品）	2GB	8GB
動画	640	15秒	16分47秒	1時間 7分 6秒
	640 LP	30秒	33分 2秒	2時間12分 3秒
	320	43秒	46分33秒	3時間 6分 4秒
メール用動画	160	3分30秒	3時間24分54秒	13時間38分45秒

- 当社測定条件によるものです。
- ［動画］の最長撮影時間は約1時間です。ただし、撮影した動画の容量が4GBになると、自動的に撮影が終わります。
- カードによっては、最長撮影時間に満たなくても、撮影が終わることがあります。SDスピードクラス4以上のカードを使用することをおすすめします。
- ［メール用動画］の最長撮影時間は約3分です。上記の数値は連続撮影したときの最大撮影時間です。

露出を指定して撮る

撮影前に露出の固定（AEロック）や変更（露出シフト）ができます。

1 露出を固定する

- ▲ を押すと露出が固定され、露出シフトバーが表示されます。

2 露出を調整する

- ◀▶で露出を調整します。
- 撮影後は▲を押して解除します。

その他の撮影機能の操作方法

以下の機能は、静止画と同じ操作方法で使えます。

- セルフタイマーを使う（p.60）
- 遠くの被写体を拡大する（p.61）
  ［ ］では、撮影中にデジタルズームを使えますが、光学ズームは動作しません。そのため、最大倍率で撮りたいときは、撮影前に光学ズームを最大倍率にしておきます。
- 近くの被写体を撮る（マクロ撮影）（p.64）
- 遠くの被写体を撮る（遠景）（p.65）
- 色あいを調整する（ホワイトバランス）（p.73）
- 画像の色調を変える（マイカラー）（p.75）
- テレビを使って撮る（p.77）
- AFL AFロックで撮る（p.85）

再生機能の操作方法

以下の機能は、静止画と同じ操作方法で使えます。

- 消す（p.25）
- 見たい画像を素早く探す（p.94）
- カテゴリーに分けて管理する（マイカテゴリー）（p.96）
- スライドショーで見る（p.98）
- テレビで見る（p.100）
- まとめて消す（p.101）
- 保護する（プロテクト）（p.102）

「動画を見る」（p.30）で表示される操作パネル一覧

	1枚表示に戻る
	動画の印刷（「ダイレクトプリントユーザーガイド」を参照してください。）
▶	再生
	スロー再生（◀で遅く、▶で速くなります。音声は再生されません。）
	先頭フレームを表示
	フレーム戻し（ を押し続けると早戻し）
	フレーム送り（ を押し続けると早送り）
	最終フレームを表示

7

いろいろな再生とその他の機能を使ってみよう

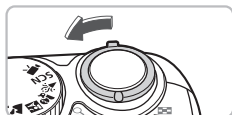
この章では、画像の再生方法や編集方法について説明しています。また、パソコンへ画像を送る方法や印刷する画像の指定方法についても説明しています。

- ▶ボタンを押して、再生モードにしてから操作してください。

パソコンで加工したり、ファイル名を変えたりした画像や、このカメラ以外で撮影した画像は、正しく表示されないことがあります。

見たい画像を素早く探す

9枚表示にする（インデックス表示）

画像を9枚単位で表示して、目的の画像を素早く探せます。

1 インデックス表示にする

- ズームレバーを側へ押します。
- ▶ インデックス表示になります。選ばれている画像は、緑色の枠が付いて拡大表示されます。

2 画像を選ぶ

- ▲▼◀▶で緑色の枠を移動します。

3 選んだ画像を1枚表示にする

- ズームレバーを側へ押します。
- ▶ 緑色の枠が付いていた画像が、1枚表示になります。

9枚単位で探す

1 インデックス表示にする

- ズームレバーを側へ押します。

ジャンプバー

2 ジャンプバーを表示する

- ズームレバーを側へ押します。
- ▶ ジャンプバーが表示されます。

3 表示画像を切り換える

- ◀▶を押すと、9枚単位で画像が切り換わります。
- インデックス表示に戻すときは、ズームレバーを側へ押します。

を押しながら◀▶を押すと、最初または最後の画像に切り換わります。

画像をとばして表示する（ジャンプ表示）

カード内に多くの画像があるときは、指定した単位で画像をとばせます。

現在再生中の画像の位置

1 ジャンプ方法を選ぶ

- 1枚表示の状態で▲を押します。
- ▶ 画面下部にジャンプ方法と、現在再生している画像の位置が表示されます。
- ▲▼で目的のジャンプ方法を選びます。

2 画像を送る

- ◀▶を押します。
- ▶ 選んだ方法でジャンプ表示されます。
- 1枚表示に戻すときは、MENUを押します。

	日付ジャンプ	各撮影日の先頭画像を表示
	人物	マイカテゴリー（p.96）で分類された各カテゴリーの画像を表示します。
	風景	
	イベント	
～	カテゴリー 1~3	
	作業用	
	フォルダジャンプ	各フォルダの先頭画像を表示
	動画ジャンプ	動画のみ表示
	10枚ジャンプ	画像を10枚ずつとばして表示
	100枚ジャンプ	画像を100枚ずつとばして表示

- ［ ］［ ］以外は、ジャンプ方法と一致する画像枚数が画面右側に表示されます。
- 目的のジャンプ方法と一致する画像がない場合、画面下部にジャンプ方法が表示されないものもあります。

カテゴリーに分けて管理する（マイカテゴリー）

画像をあらかじめ用意されているカテゴリーに分類し、カテゴリー単位で管理できます。

	人物		カテゴリー 1～3
	風景		作業用
	イベント		

1 ［マイカテゴリー］を選ぶ

- MENUを押して、［▶］タブから▲▼で［マイカテゴリー］を選び、FUNC/SETを押します。

2 分類する

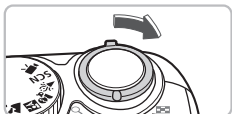
- ◀▶で画像を選び、▲▼でカテゴリーの種類を選び、FUNC/SETを押します。
- もう一度FUNC/SETを押すと、設定を解除できます。

撮影時の自動カテゴリー

撮影時は、以下のように自動でカテゴリー分けされます。

人物	、、で撮影した画像、またはAFフレーム（p.80）が［顔優先］のとき、顔が検出された画像
風景	、、、で撮影した画像
イベント	、、、、で撮影した画像

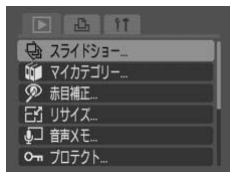
- 撮影した画像を自動でカテゴリー分けしないときは、［］タブの［自動カテゴリー］を［切］にします。

🔍 拡大して見る

表示位置の目安

拡大する

- 1 枚表示の状態でズームレバーを 🔍 側へ押し続けると、［SET 拡大］が表示され、最大約10倍まで拡大します。
- ▲▼◀▶ で表示位置を移動できます。
- ズームレバーを ▦ 側へ押すと縮小表示になり、押し続けると1枚表示に戻ります。
- (FUNC. SET)を押すと［SET 画像送り］が表示され、◀▶で拡大したまま画像を切り換えられます。もう一度(FUNC. SET)を押すともとに戻ります。

スライドショーで見る

カードに記録されている画像を自動的に再生します。画像1枚の表示時間は約3秒です。

1 ［スライドショー］を選ぶ

- (MENU)を押して、［▶］タブから▲▼で［スライドショー］を選び、(FUNC./SET)を押します。

2 再生効果を選ぶ

- ◀▶で再生効果を選び、(FUNC./SET)を押します。
- ▶［画像読み込み中］が数秒間表示されたあと、スライドショーがはじまります。
- もう一度(FUNC./SET)を押すと、一時停止／再開ができます。
- 終了するときは(MENU)を押します。

	効果なしで画像が表示されます。
	次の画像が徐々に表示されます。
	左の方向に画像が切り替わって表示されます。

- 再生中に◀▶を押すと、画像を切り換えられます（押し続けると早送りします）。
- スライドショー中に節電機能は働きません（p.42）。

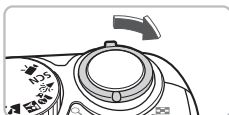
ピントや人物の表情を確認する（フォーカスチェッカー）

撮影した画像のピントや人物の表情などを確認できます。

撮影した画像

オレンジ色のフレーム内を表示

1 ピント確認表示にする

- ピント確認の画面になるまで、(DISP.) を押します。
- ▶ ピント合わせを行ったAFフレームや顔の位置に白色のフレーム、再生時に検出された顔の位置に灰色のフレームが表示されます。
- ▶ オレンジ色のフレームは、画面右下に表示される画像の範囲を示します。

2 ピントを確認する

- ズームレバーをQ側に押します。
- ▶ オレンジ色のフレーム内が、画面右下に拡大表示されます。

- ズームレバーを操作して表示倍率を変えたり、▲▼◀▶で表示位置を変えながら確認します。
- (MENU)を押すと拡大表示が終了します。

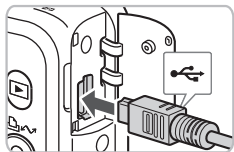
複数のフレームが表示されたとき

- 複数のフレームが表示されたときは、(FUNC. SET)または[顔]でフレームの切り換えができます。ボタンを押すごとにオレンジ色のフレーム位置が変わります。

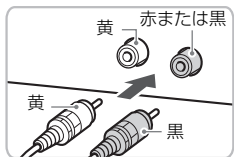
テレビで見る

付属のAVケーブルでカメラとテレビをつなぎ、撮影した画像を見ることができます。

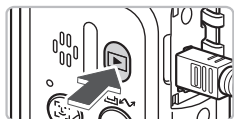
用意するもの

- カメラとテレビ
- 付属のAVケーブル（p.2）

1 カメラとテレビの電源を切る

2 カメラとテレビをつなぐ

- ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラの端子に差し込みます。
- ケーブルのプラグの色をテレビの端子の色にあわせて差し込みます。

3 テレビの電源を入れ、テレビの入力切り換えをビデオ入力にする

4 カメラの電源を入れる

- ▶を押して電源を入れます。
- ▶ 画像がテレビに表示されます（カメラの画面には何も表示されません）。
- 見終わったらカメラとテレビの電源を切ってから、AVケーブルを抜きます。

? 画像がテレビに表示されないときは？

出力方式（NTSC/PAL）があわないと、画像が正しく表示されません。そのときは、MENUを押して、[🔧] タブの［ビデオ出力方式］で出力方式を選びます（日本国内の出力方式は、「NTSC」です）。

画像を切り換えたときの効果を変える

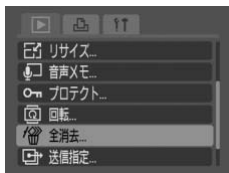
1枚表示で画像を切り換えたときの見えかた（効果）を、3種類から選べます。

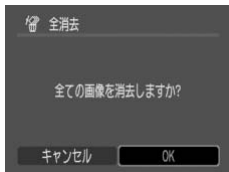
［再生効果］を選ぶ

- (MENU)を押して、［▶］タブから▲▼で［再生効果］を選び、◀▶で目的の項目を選びます。

☐×	効果なしで画像が表示されます。
▦	一瞬画像が消えたあと、次の画像が表示されます。
◧	左右に切り換わって表示されます。

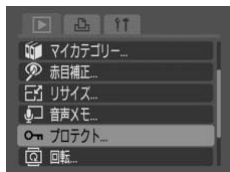
まとめて消す

すべての画像をまとめて消せます。消した画像は復元できないので、十分に確認してから消してください。プロテクトをかけた画像は消えません。

1 ［全消去］を選ぶ

- (MENU)を押して、［▶］タブから▲▼で［全消去］を選び、(FUNC./SET)を押します。

2 すべての画像を消す

- ◀▶で［OK］を選び、(FUNC./SET)を押します。
- ▶ カード内のすべての画像が消えます。

O-π 保護する（プロテクト）

大切な画像をカメラの消去機能で誤って消さないよう、プロテクトをかける（保護する）ことができます。

1 ［プロテクト］を選ぶ

- (MENU)を押して、［▶］タブから▲▼で［プロテクト］を選び、(FUNC/SET)を押します。

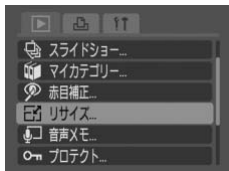
2 プロテクトをかける

- ◀▶で画像を選び、(FUNC/SET)を押します。
- ▶ プロテクトされ、［O-π］が表示されます。
- もう一度(FUNC/SET)を押すとプロテクトが解除され、［O-π］が消えます。
- プロテクトをかけたい画像が複数あるときは、上記の操作を繰り返します。

カードを初期化（p.49）すると、プロテクトされた画像も消えます。

- プロテクトをかけた画像は、カメラの消去機能では消えません。画像を消すときは、プロテクトを解除してください。
- 必要な画像にプロテクトをかけてから［全消去］（p.101）をおこなうと、プロテクトをかけた画像以外はすべて消えます。不要な画像を一度にまとめて消すときに便利です。

画像を小さくする（リサイズ）

撮影した画像を小さな記録画素数にして、別画像として保存できます。

1 ［リサイズ］を選ぶ

- (MENU)を押して、［▶］タブから▲▼で［リサイズ］を選び、(FUNC. SET)を押します。

2 画像を選ぶ

- ◀▶で画像を選び、(FUNC. SET)を押します。

3 大きさを選ぶ

- ◀▶で大きさを選び、(FUNC. SET)を押します。

4 新規保存する

- ◀▶ で［OK］を選び、(FUNC. SET)を押します。
- ▶別画像として保存されます。

5 画像を確認する

- (MENU)を押すと、［保存した画像を表示します］が表示されます。◀▶ で［はい］を選び、(FUNC. SET)を押します。
- ▶保存した画像が表示されます。

- カードの残り容量がないときは、画像の大きさを変えられません。
- 動画、W で撮影した画像は、大きさを変えられません。

撮影した画像の記録画素数よりも大きくはできません。

回転する

カメラを縦位置にして撮影した画像が横位置で表示されるときは、画像を回転して向きを変えられます。

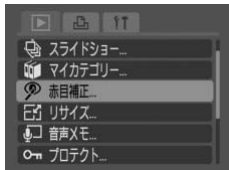
1 ［回転］を選ぶ

- MENU を押して、［▶］タブから▲▼で［回転］を選び、FUNC. SET を押します。

2 回転させる

- ◀▶で画像を選び、FUNC. SET を押します。
- ▶ FUNC. SET を押すたびに90度、270度、もとの画像の順で画像が回転します。

赤目を補正する

目が赤く撮影されてしまった画像の赤目の部分を自動的に補正して、別画像として保存できます。

1 [赤目補正] を選ぶ

- MENUを押して、[▶] タブから▲▼で [赤目補正] を選び、FUNC/SETを押します。

2 画像を選ぶ

- ◀▶で画像を選び、FUNC/SETを押します。
- ▶ カメラが検出した赤目部分に枠が表示されます。

3 補正する

- ◀▶で [補正実行] を選び、FUNC/SETを押します。

4 新規保存する

- ◀▶で [新規保存] を選び、FUNC/SETを押します。
- ▶ 別画像として保存されます。

5 確認する

- MENUを押すと、[保存した画像を表示します] が表示されます。◀▶ で [はい] を選びFUNC/SETを押します。
- ▶ 保存した画像が表示されます。

手動補正

自動補正で赤目部分が検出されないときは、手動で補正します。

1 補正枠を追加する

- 前ページの手順3の操作で［補正枠の追加］を選び、(FUNC/SET)を押します。

2 補正する位置と大きさを設定する

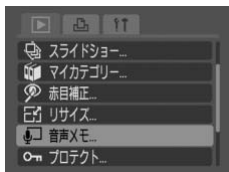
- ▲▼◀▶で補正枠（緑色）を赤目部分に移動し、ズームレバーを操作して、赤目部分だけを囲うように枠の大きさを調整します。
- ▶画面右下に補正枠内が拡大表示されます。
- (FUNC/SET)を押すと1つ目の枠が固定され(白色)、新しい補正枠が表示されます。
- 枠の位置と大きさが決まったら、(MENU)を押して、前ページの手順3～4の操作をおこないます。
- 補正枠は35個まで追加できます。

補正枠の削除

- 前ページの手順3の操作で［補正枠の削除］を選び、(FUNC/SET)を押します。
- ◀▶ で削除する枠を選び、(FUNC/SET)を押します。
- (MENU)を押して、前ページの手順3～4の操作をおこないます。

- 画像によっては、正しく補正されないことがあります。
- カードの空き容量が足りないときは、補正できません。
- 同じ画像に対して補正を繰り返すと、画質が粗くなることがあります。
- 前ページの手順4で［上書き保存］を選んだときは、補正内容で上書きされるため、補正前の画像は残りません。
- プロテクトされている画像は上書き保存できません。

音声メモを付ける

音声（WAVE形式）を録音して、画像に記録できます。録音できるのは、1画像につき最長で約1分間です。

1 ［音声メモ］を選ぶ

● MENUを押して、［▶］タブから▲▼で［音声メモ］を選び、FUNC/SETを押します。

2 画像を選ぶ

● ◀▶で画像を選び、FUNC/SETを押します。

3 録音する

● ◀▶で［●］を選び、FUNC/SETを押します。

▶ 録音がはじまります。

● もう一度FUNC/SETを押すと、停止／再開ができます。

● 操作を終了するときは、◀▶で［↶］を選んでFUNC/SETを押します。

操作パネル一覧

↶	操作を終了する	●	録音する
■	停止する	▶	再生する
消去	音声メモを消す		

- 画像に付けた音声は、付属のソフトウェアでも再生できます。
- プロテクトされた画像の音声メモは消せません。

目的の画像をパソコンに送る

1章の「カメラを操作して画像を送る」(p.35)では、「未転送画像」の操作方法を説明しましたが、ここでは、それ以外の転送方法について説明します。

1 準備する

- p.33の手順2~4の操作で［ダイレクト転送］画面を表示します。

2 項目を選ぶ

- ▲▼で目的の項目を選びます。

3 画像を送る

［ ］、［ ］のとき

- を押します。
- ▶ 画像の転送が終わると［ダイレクト転送］画面に戻ります。

［ ］、［ ］のとき

- を押したあと、◀▶ で画像を選び、を押します。
- ▶ 選んだ画像が送られます。
- MENU を押して［ダイレクト転送］画面に戻ります。

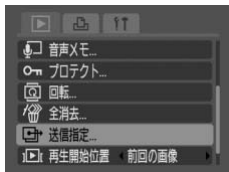
ダイレクト転送の種類

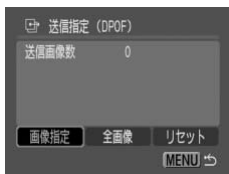
項目	説明
全画像	カード内のすべての画像をパソコンに送ります。
未転送画像	パソコンに取り込まれていないすべての画像を送ります(p.35)。
送信指定画像	パソコンに送る画像を指定して、まとめて送ります(p.109)。
画像を選んで転送	画像を1枚ずつ選んでパソコンに送ります。
パソコンの背景	パソコンのデスクトップの背景(壁紙)として表示する画像を選んで送ります(JPEGのみ)。

転送を中止したいときは FUNC SET を押します。

送信指定（DPOF）

「送信指定画像」（p.108）でパソコンに送りたい画像を指定できます。
＊ この指定方法はDPOF（Digital Print Order Format）規格に準拠しています。

1枚ずつ指定

1 ［送信指定］を選ぶ

● MENUを押して、［▶］タブから▲▼で［送信指定］を選び、FUNC./SETを押します。

2 ［画像指定］を選ぶ

● ◀▶で［画像指定］を選び、FUNC./SETを押します。

3 画像を選ぶ

● ◀▶で画像を選び、FUNC./SETを押します。
▶ 送信指定され、［✔］が表示されます。
● もう一度FUNC./SETを押すと［✔］が消え、指定が解除されます。
● この手順を繰り返して送信する画像を最大998枚まで指定できます。
● MENUを2回押すと、指定した内容がカードに保存され、メニュー画面に戻ります。

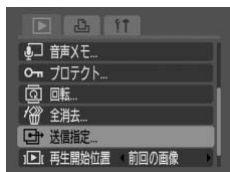
すべての画像を指定

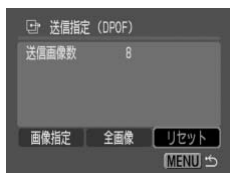
1 ［送信指定］を選ぶ

MENUを押して、［▶］タブから▲▼で［送信指定］を選び、FUNC/SETを押します。

2 ［全画像］を選ぶ

- ◀▶で［全画像］を選び、FUNC/SETを押します。
- ◀▶で［OK］を選び、FUNC/SETを押します。
- ▶ すべての画像が一括して指定されます。

すべての指定を解除

1 ［送信指定］を選ぶ

- MENUを押して、［▶］タブから▲▼で［送信指定］を選び、FUNC/SETを押します。

2 ［リセット］を選ぶ

- ◀▶で［リセット］を選び、FUNC/SETを押します。
- ◀▶で［OK］を選び、FUNC/SETを押します。
- ▶ 送信指定がすべて解除されます。

> ! 他のカメラで指定したカードをこのカメラに入れると、［⚠］が表示されることがあります。このカメラで指定を変更すると、設定済みの指定がすべて書き換えられることがあります。

印刷指定（DPOF）

カード内の画像の中から印刷したい画像や印刷枚数などを指定して、一括印刷や写真店への印刷注文ができます（最大998画像）。

＊ この指定方法はDPOF（Digital Print Order Format）規格に準拠しています。

🖶〜でかんたん予約

印刷したい画像を表示して🖶〜を押すだけで、かんたんに印刷予約（DPOF）ができます。

1 画像を選ぶ

● ◀▶で画像を選び、🖶〜を押します。

2 枚数を指定する

● ▲▼で枚数を指定します。

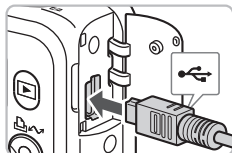
3 印刷予約をする

● ◀▶で［予約する］を選び、(FUNC/SET)を押します。

▶［🖶］と印刷枚数が表示されます。

● 印刷予約を解除したい場合は、印刷予約した画像を表示し、🖶〜を押したあと◀▶で［解除する］を選んで(FUNC/SET)を押します。

予約した画像を印刷する（DPOF）

印刷予約（DPOF）をしてからカメラをプリンターに接続すると、指定した画像をかんたんに印刷できます。「ダイレクトプリントユーザーガイド」もあわせて参照してください。

1 カメラとプリンターの電源を切る

2 カメラとプリンターをつなぐ

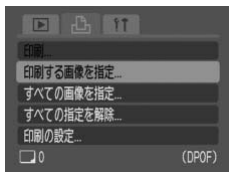
- ふたを開き、ケーブルの小さいプラグを図の向きにして、カメラの端子に差し込みます。
- ケーブルの大きいプラグをプリンターに差し込みます。プリンターのつなぎかたについては、プリンターの使用説明書を参照してください。

3 プリンターの電源を入れる

4 カメラの電源を入れる

5 印刷する

- ▲▼で［すぐに印刷］を選び、(FUNC/SET)を押します。
- ▶ 印刷がはじまります。
- ◀▶ で印刷予約した画像を確認できます。

画像を選んで指定

1 ［印刷する画像を指定］を選ぶ

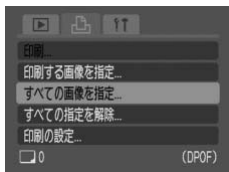
- MENUを押して、［凸］タブから▲▼で［印刷する画像を指定］を選び、FUNC/SETを押します。

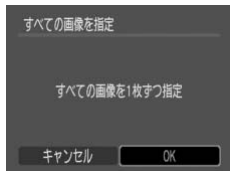
2 画像を選ぶ

- ◀▶で画像を選び、FUNC/SETを押します。
- ▶ 枚数指定ができるようになります。
- ［インデックス］では、指定されると［✓］が表示されます。

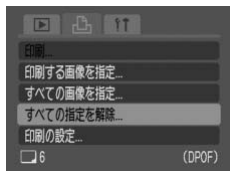
3 枚数を指定する

- ▲▼で枚数を指定します。（最大99枚）
- 手順2～3の操作を繰り返して、画像と枚数を指定します。
- ［インデックス］では、枚数の指定ができません。画像のみを選んでください。

すべての画像を指定

1 ［すべての画像を指定］を選ぶ

- MENUを押して、［凸］タブから▲▼で［すべての画像を指定］を選び、FUNC/SETを押します。

2 設定する

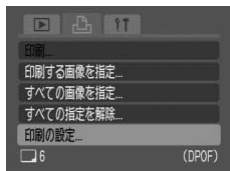
- ◀▶で［OK］を選び、(FUNC/SET)を押します。
- ▶ すべての画像が1枚ずつに指定され、メニュー画面に戻ります。

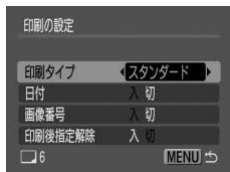
すべての指定を解除

［すべての指定を解除］を選ぶ

- (MENU)を押して、［凸］タブから▲▼で［すべての指定を解除］を選び、(FUNC/SET)を押します。
- ◀▶で［OK］を選び、(FUNC/SET)を押します。
- ▶ すべての指定が解除されます。

印刷内容の設定

印刷タイプや日付、画像番号といった印刷内容を設定できます。この設定は、印刷指定したすべての画像に共通して適用されるため、1画像ごとには設定できません。

---

1 ［印刷の設定］を選ぶ

- (MENU)を押して、［凸］タブから▲▼で［印刷の設定］を選び、(FUNC/SET)を押します。

2 設定する

- ▲▼で目的の項目を選び、◀▶で設定します。

印刷タイプ	スタンダード	用紙1枚に1画像を印刷
	インデックス	用紙1枚に縮小画像を複数印刷
	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷
日付	入	撮影日を入れて印刷
	切	－
画像番号	入	画像番号を付けて印刷
	切	－
印刷後指定解除	入	印刷後、画像の印刷指定をすべて解除
	切	－

- プリンターまたは写真店によっては、印刷指定した内容が反映されないことがあります。
- 他のカメラで指定したカードをこのカメラに入れると、［⚠］が表示されることがあります。このカメラで指定を変更すると、設定済みの指定がすべて書き換えられることがあります。
- ［ ］で日付を写し込んだ画像（p.63）は、［日付］の設定にかかわらず、日付が印刷されます。そのため［日付］を［入］に設定すると、お使いのプリンターによっては、日付が重複して印刷されることがあります。

- ［インデックス］に設定したときは、［日付］と［画像番号］の両方を［入］にできません。
- 日付の並びは、［ ］タブの［日付/時刻］の設定で印刷されます（p.19）。

8

カメラの機能を自分好みに変えよう

この章では、ふだんカメラを使う上で便利な機能の設定方法や、撮影機能の変更方法について説明しています。

カメラの機能を変える

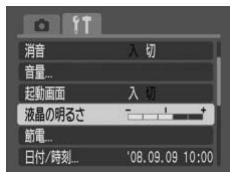
メニューの［𝐘𝐓］タブにある機能は、ふだんカメラを使う上で便利な機能です。撮影モードまたは再生モードで(MENU)を押すと設定できます。

起動画面を表示しない

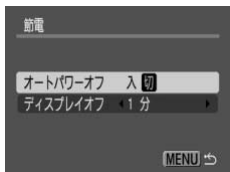
電源を入れたときに、起動画面を表示しないようにできます。

- ［起動画面］を選び、◀▶で［切］を選びます。

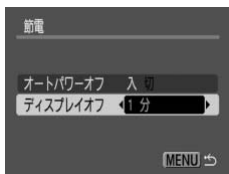
画面の明るさを変える

画像の明るさを確認しながら調整できます。

- ［液晶の明るさ］を選び、◀▶で明るさを選びます。

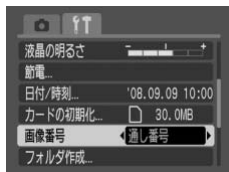
節電機能を切る

節電機能（p.42）を［切］にできます。電池の消耗を防ぐため、通常は［入］をおすすめします。

- ［節電］を選び、(FUNC/SET)を押します。
- ▲▼で［オートパワーオフ］を選び、◀▶で［切］を選びます。
- ［切］にすると節電機能は働きません。電源の切り忘れに注意してください。

画面が消えるまでの時間を変える

撮影モードのときに、画面が自動的に消えるまでの時間を設定できます。節電機能（p.118）が［切］のときも働きます。
電池の消耗を防ぐため、通常は［1分］以下をおすすめします。

- ［節電］を選び、(FUNC SET)を押します。
- ▲▼で［ディスプレイオフ］を選び、◀▶で設定したい時間を選びます。

画像番号の付けかたを変える

撮影した画像には、撮影した順に0001～9999の画像番号が付けられて、1つのフォルダに2000枚ずつ保存されます。この画像番号の付けかたを、目的に応じて変えられます。

- ［画像番号］を選び、◀▶で目的の項目を選びます。
- ［通し番号］：カードを交換して撮影しても、画像番号9999の画像が撮影／保存されるまで連番になります。
  ［オートリセット］：カードを交換すると、画像番号0001から順に番号を付けて保存します。

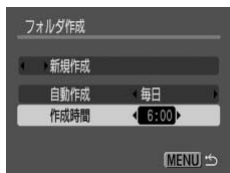
- ［通し番号］、［オートリセット］とも、交換するカードに画像が入っているときは、その画像番号の続き番号になることがあります。画像番号0001の画像から順に保存したいときは、初期化（p.49）したカードをお使いください。
- フォルダ構造や保存される画像については、「ソフトウェアクイックガイド」を参照してください。

フォルダを作る

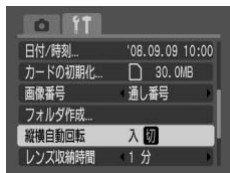
撮影した画像を保存するフォルダを、新しく作れます。

- ［フォルダ作成］を選び、(FUNC SET)を押します。
- ▲▼で［新規作成］を選び、◀▶で［✓］を表示します。
- ▶ 撮影モードにすると、画面に［ ］が表示され、撮影すると、新しいフォルダに撮影した画像が保存されます。

フォルダを指定した日時に作る

指定した日時に、新しいフォルダが作れます。

- ［フォルダ作成］を選び、(FUNC SET)を押します。
- ▲▼で［自動作成］を選び、◀▶で作る間隔を選びます。
- ▲▼で［作成時間］を選び、◀▶で作る時間を選びます。
- ▶ 設定した日時に新しいフォルダが作られ、以後、撮影した画像は新しいフォルダに保存されます。

自動回転を切る

縦位置で撮影した画像をカメラで見るときは、自動回転して縦位置で表示されます。この機能を使わないようにできます。

- ［縦横自動回転］を選び、◀▶を押して［切］を選びます。

レンズ収納時間を変える

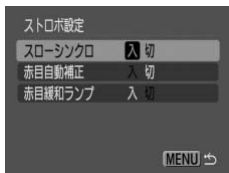
再生モードに切り換えて約1分経過すると、安全のためレンズが収納されます。この収納時間を［0秒］に設定できます。

● ［レンズ収納時間］を選び、◀▶で［0秒］を選びます。

撮影機能を変える

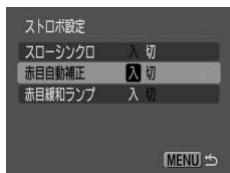
メニューの［📷］タブにある機能は、撮影モードのときに(MENU)を押すと設定できます。
ただし、撮影モードによっては使えない機能がありますので、「［📷］（撮影）タブメニュー 一覧」で確認してください（p.136）。

スローシンクロ機能を使う

遅いシャッタースピードで、ストロボを発光して撮影します。夜景や室内などで、ストロボ発光時に背景だけが暗くなるのを軽減できます。［夜景］と同じ効果（p.57）が得られます。

● ［ストロボ設定］を選び、(FUNC/SET)を押します。
● ▲▼で［スローシンクロ］を選び、◀▶で［入］を選びます。

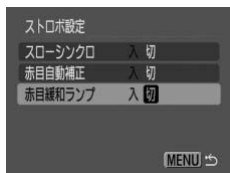
手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。三脚などでカメラを固定するときは、［手ブレ補正］を［切］にして撮影することをおすすめします（p.124）。

赤目自動補正を使う

人物の目が赤く写ったときに、自動で赤目を補正します。補正後の画像のみカードに記録されます。

- [ストロボ設定] を選び、(FUNC SET)を押します。
- ▲▼で [赤目自動補正] を選び、◀▶で [入] を選びます。

- 化粧などにより目の周りが赤いときは、赤目以外の部分を補正することがあります。
- 画像によっては、赤目が自動的に検出されなかったり、思い通りに補正されないことがあります。このようなときは、[▶] タブの [赤目補正] で補正してください (p.105)。

赤目緩和ランプを切る

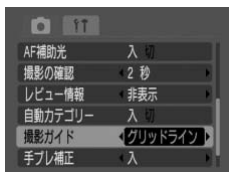
暗いところでのストロボ撮影では、人物の目が赤く撮影されることを緩和するため、ランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにできます。

- [ストロボ設定] を選び、(FUNC SET)を押します。
- ▲▼で [赤目緩和ランプ] を選び、◀▶で [切] を選びます。

AF補助光（ランプ）を切る

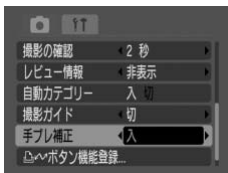
シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、カメラが自動的にランプ（前面）を点灯してピント合わせをおこないます。このランプを点灯しないようにできます。

- ［AF補助光］を選び、◀▶で［切］を選びます。

ガイドを表示する

撮影のときに垂直、水平の目安になる格子線や、L判やはがきなどの縦横比が3：2の用紙に印刷するときの目安を画面上に表示できます。

- ［撮影ガイド］を選び、◀▶で目的の項目を選びます。
- ［グリッドライン］：格子線が画面に表示されます。
  ［3:2ガイド］：上下に灰色の帯が表示されます。この部分は縦横比が3:2の用紙に印刷されません。

- ［ ］［W］、 では、［3：2ガイド］、［両方］は設定できません。
- グリッドラインは画像に記録されません。
- 画面上下の灰色の部分は、印刷されない領域を示しています。実際の画像はフル画面で記録されています。

手ブレ補正の設定を変える

- ［手ブレ補正］を選び、◀▶で目的の項目を選びます。
- ［入］：常時手ブレを補正します。画面上で補正効果が確認できるため、構図の確認やピント合わせがしやすくなります。
  ［撮影時］：撮影される瞬間のみ手ブレを補正します。
  ［流し撮り］：上下方向だけブレを補正します。横方向に動いているものをカメラで追いかけて撮影するときに適しています。

- 手ブレを補正しきれないときは、三脚などでカメラを固定してください。三脚などでカメラを固定するときは、［手ブレ補正］を［切］にして撮影することをおすすめします。
- ［流し撮り］は、カメラを横位置にしてお使いください。カメラが縦位置では補正されません。

ボタンによく使う機能を登録する

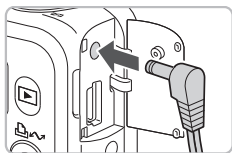
- ［ボタン機能登録］を選び、(FUNC SET)を押します。
- ▲▼◀▶で登録する項目を選び、(FUNC SET)を押します。
- を押すと、登録した機能が使えたり、選んだ機能の設定画面が表示されたりします。

- ボタン登録を解除するときは［ ］を選びます。
- アイコン右下の［⃠］は、設定している撮影モードでは使えないことを示しています。
- ［ ］では、を押すたびに白データの取り込みがおこなわれ（p.73）、ホワイトバランスも［ ］に設定されます。

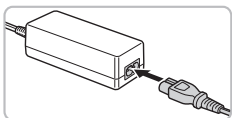
カメラを使うときに役立つ情報

このカメラのアクセサリーの紹介や、カメラの機能一覧、索引を掲載しています。

家庭用電源でカメラを使う

ACアダプターキットACK800（別売）を使うと、電池の残量を気にせずにカメラを操作できます。

1 カメラの電源を切る

2 プラグをカメラにつなぐ

- ふたを開け、プラグをカメラの端子に差し込みます。

3 電源コードを取り付ける

- 電源コードをアダプターに差し込み、プラグをコンセントに差し込みます。
- カメラの電源を入れると、カメラが使えます。
- 使い終わったら、カメラの電源を切ってからプラグをコンセントから抜いてください。

カメラの電源を入れたまま、電源コードを抜かないでください。撮影した画像が消えたり、カメラが故障することがあります。

補助ストロボを使う

ハイパワーフラッシュ HF-DC1（別売）は、被写体が遠すぎて内蔵ストロボの光が届かないときに使う補助ストロボです。取り付けかたや使いかたについては、ハイパワーフラッシュ HF-DC1の使用説明書を参照してください。

日ごろの取り扱いについて

カメラについて

- カメラは精密機器です。落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- カメラを磁石やモーターなどの、強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像が消えたりすることがあります。
- カメラや画面に水滴や汚れがついたときは、メガネ拭きなどのやわらかい布で拭きとってください。ただし、強くこすったり、押したりしないでください。
- 有機溶剤を含むクリーナーなどでは、絶対にカメラや画面をふかないでください。
- レンズにゴミが付いているときは、市販のブロアーで吹き飛ばすだけにしてください。汚れがひどいときは、修理受付窓口（別紙のサポートガイド）にご相談ください。
- カメラを寒いところから急に暑いところへ移すと、カメラに結露（水滴）が発生することがあります。カメラを寒いところから暑いところへ移すときは結露の発生を防ぐため、カメラをビニール袋に入れて袋の口を閉じ、周囲の温度になじませてから取り出してください。
- 結露が発生したときは、故障の原因となりますのでカメラを使わないでください。電池、カードをカメラから取り出し、水滴が消えてから、カメラを使ってください。

カードについて

- カードは精密にできています。曲げたり、落としたり、振動を与えないでください。カードに記録されている画像が消えることがあります。
- カードに液体をこぼしたり、端子部に手や金属で触れたりしないでください。
- テレビやスピーカーなど、磁力や静電気の発生しやすいところに保管しないでください。カードに記録されている画像が消えることがあります。
- 温度の高いところ、ほこりや湿気の多いところに保管しないでください。

海外での使用について

AC アダプターキットやバッテリーチャージャーは、海外でもお使いになれます（AC100 ～ 240V、50/60Hz までの電源に接続できます）。
ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります（1 つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。
変換プラグアダプターやコンセントの形状については、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

コンパクトパワーアダプターやバッテリーチャージャーを海外旅行用の電子変圧器などに接続すると、故障、発熱、火災、感電、けがの原因となることがありますので、接続しないでください。

故障かな？ と思ったら

「カメラが故障したのかな？」と考える前に、下記の例を参考に確認してください。ただし、問題が解決しないときは、別紙の相談窓口へご相談ください。

電源

電源ボタンを押してもカメラが動作しない

- 電池が正しい向きで入っているか確認してください（p.14）。
- カード/電池収納部ふたが閉じているか確認してください（p.15）。
- 指定された電池で、残量があることを確認してください（p.16）。
- 電池の電極を乾いたきれいな布で拭き、電池を数回入れ直してください。

電池の消耗が早い

- 指定された電池を使っているか確認してください（p.16）。
- 低温では電池性能が低下します。ポケットなどで電池を温めてからお使いください。
- 電池の電極が汚れていると電池性能が低下します。乾いたきれいな布で電池の電極を拭き、電池を数回入れ直してください。

レンズが出たままで収納されない

- 電源を入れたまま、カード/電池収納部ふたを開けないでください。ふたを閉じた後、電源を入れてからもう一度切ってください（p.15）。

テレビ表示

テレビに表示できない/ 画面が乱れる

- お使いの地域のビデオ出力方式（NTSCまたはPAL）に合わせてください（p.100）。

撮影

撮影中の画面の表示がおかしい

- 暗い場所では、自動的に画面が明るくなります。そのため、画面が粗い感じ、またはややぎこちない表示になることがあります（p.45）が、画像には記録されません。

以下の場合、静止画には記録されませんが、動画には記録されます。ご注意ください。

- カメラに強い光が当たると、表示が黒くなることがあります。
- 蛍光灯下で撮影すると、画面がちらつくことがあります。
- 明るい光源を撮影すると、画面に赤紫色の帯が表示される場合があります。

撮影しようとしたら画面が消えた

- ストロボ充電が終わるともとどおりに表示されます（p.23）。

シャッターボタンを半押ししたときに、［ ］が表示される

- ［手ブレ補正］を［入］にしてください（p.124）。
- ストロボを［ ］以外に設定してください（p.59）。

- ISO感度を高くしてください（p.72）。
- 三脚などでカメラを固定してください。

画像がボケて撮影されている

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、撮影してください（p.21）。
- 正しい撮影距離の範囲内に被写体を収めて撮影してください（p.140）。
- 「シャッターボタンを半押ししたときに、［ ］が表示される」を確認してください（p.129）。
- ［AF補助光］を［入］にしてください（p.123）。
- 意図しない機能（マクロ撮影など）が設定されていないか確認してください。
- フォーカスロック、またはAFロックで撮影してください（p.76、85）。

シャッターボタンを半押ししても、AFフレームが表示されずピントが合わない

- 被写体の明暗差がある部分を画面中央にしてシャッターボタンを半押しするか、半押しを何度か繰り返すとAFフレームが表示され、ピントが合う場合があります。

被写体が暗すぎる、または明るすぎる（白トビする）

- ストロボを［ ］にして撮影してください（p.59）。
- 露出補正で明るさを調整してください（p.74）。
- AEロックまたはスポット測光で撮影してください（p.85、86）。
- 照明が被写体に当たりすぎています。

ストロボ撮影したのに暗い画像になった

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください（p.140）。
- ISO感度を高くしてください（p.72）。

ストロボ撮影した画像の被写体が明るすぎる（白トビする）

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください（p.140）。
- ストロボを［ ］にしてください（p.59）。

ストロボ撮影時、画像に白い点などが写る

- 空気中のちりなどにストロボ光が反射しました。

画像が粗い感じになる

- ISO感度を低くして撮影してください（p.72）。
- 撮影のモードによってはISO感度が高いため、粗い感じの画像になることがあります（p.55、56）。

目が赤く写る

- ［赤目緩和ランプ］を［入］に設定してください。写される人が赤目緩和ランプを見ているときに効果があります。「室内を明るくする」、「写したい人に近付く」と効果が上がります。ランプの点灯時、約1秒間シャッターが切れません（p.23、122）。
- 撮影時に赤目自動補正で補正したり、撮影後に［赤目補正］で修正したりすることができます（p.105、122）。

カードへの画像の記録時間が長い、または連続撮影速度が遅くなった

- カードをこのカメラで物理フォーマットすると改善する場合があります（p.50）。

撮影機能やFUNC.メニューの設定ができない

- 設定できる項目は撮影モードによって異なります。「撮影機能/FUNC.メニュー一覧」（p.134）でご確認ください。

動画撮影

正しい撮影時間が表示されない、または中断される

- カードをこのカメラで初期化するか、書き込み速度の速いカードを使ってください。撮影時間が正しく表示されないときも、カードには実際に撮影した時間の動画が記録されています（p.29、49）。

液晶モニターに「！」が赤く表示され、撮影が自動的に終了した

カメラの内部メモリーが少なくなりました。以下の方法をお試しください。

- カードをこのカメラで物理フォーマットする（p.50）。
- 記録画素数を小さくする（p.90）。
- 書き込み速度の速いカードを使う。

ズームできない

- ズームを操作したあとで、動画を撮影してください。では、撮影中にデジタルズームもできます（p.90）。

再生

再生できない

- パソコンでファイル名やフォルダ構造を変更すると再生できないことがあります。詳細は、「ソフトウェアクイックガイド」をご覧ください。

再生が中断する、または音声が途切れる

- このカメラで初期化したカードをお使いください（p.49）。
- 動画を読み込み速度の遅いカードにコピーして再生すると、再生が一瞬中断することがあります。
- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム（コマ）落ちしたり、音声が途切れたりすることがあります。

ボタン、ズームレバーが使えない

- モードダイヤルがらくらくモードのときは、ズームレバーや一部のボタンが使えません（p.54）。

メッセージ

画面にメッセージが表示される

- メッセージ一覧を参照して対処してください（p.132）。

画面に表示されるメッセージ一覧

画面にメッセージが表示されたときは、以下のように対応してください。

カードがありません

- カードが正しい向きで入っていません。カードを正しい向きで入れます（p.14）。

ライトプロテクト

- SD カード、SDHCカードのスイッチがLOCK側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えます（p.14、17）。

記録できません

- カードが入っていない状態で撮影しました。撮影するときは、カードを正しい向きで入れます（p.14）。
- 動画に音声メモは付けられません。

カードが異常です

- カードに異常が起こりました。初期化すると正常に戻ることがあります（p.49）。ただし、付属のカードを入れても、同じ表示が出るときは故障ですので、別紙の相談窓口へご相談ください。

カードがいっぱいです

- カードの空き容量がないため撮影できません。画像を消して（p.25、101）空き容量を作るか、空き容量のあるカードに交換します（p.14）。

バッテリーを交換してください

- 電池残量がありません。新しい電池に交換します（p.16）。

画像がありません

- カードに表示できる画像が入っていません。

プロテクトされています

- プロテクトしている画像、音声メモは消せません。プロテクトを解除してから消してください（p.102）。

認識できない画像です/互換性のないJPEG です/画像が大きすぎます/RAW

- 非対応の画像やデータが壊れている画像は表示できません。
- パソコンで加工したり、ファイル名を変えたりした画像や、このカメラ以外で撮影した画像は、表示できないことがあります。

拡大できない画像です/回転できない画像です/処理できない画像です

- 非対応の画像は、拡大（p.97）、回転（p.104）、編集（p.103、105）はできません。
- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、拡大、回転、編集できないことがあります。
- 動画は、拡大（p.97）や編集（p.103、105）はできません。

互換性のないWAVEです

- 非対応の音声データが画像に付いているため、この画像への追加録音や再生はできません（p.107）。

ファイル名が作成できません

- カメラが作成しようとしたフォルダ名、画像のファイル名と同じファイル名があるときや、画像番号が最大値になっているときは、フォルダや画像が作成できません（p.107）。［🔧］タブで［画像番号］を［オートリセット］に変えるか（p.119）、カードを初期化します（p.49）。

転送できません

- データの壊れた画像や非対応の画像は、ダイレクト転送で指定しても転送できません（p.34、108）。
- ［パソコンの背景］では動画を指定しても転送できません（p.108）。

指定が多すぎます

- 印刷指定、送信指定の画像を998より多く指定しました。指定する画像を998画像以下にします（p.109、111）。

指定完了できませんでした

- 印刷指定、送信指定を正しく保存できませんでした。指定枚数を減らして、もう一度指定します（p.109、111）。

指定できない画像です

- 非対応の画像は印刷指定できません（p.111）。
- パソコンで加工したり、ファイル名を変えたりした画像や、このカメラ以外で撮影した画像は、指定できないことがあります。

通信エラー

- カードに大量の画像（1000 枚程度）があるため、パソコンに画像が送れません。カードリーダー（市販品）を使って画像を取り込みます。

レンズエラーを検知しました

- レンズの不具合を検知しました。電源ボタンを押して、電源を入れ直します（p.22）。ただし、頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、別紙の相談窓口へご相談ください。
- レンズ動作中にレンズを押さえたり、ほこりや砂ぼこりの立つ場所などでカメラを使うと表示されることがあります。

Exx（エラー番号）

- カメラがエラーを検知しました。電源ボタンを押して、電源を入れ直します（p.22）。撮影直後に表示されたときは、撮影されていないことがあります。再生して画像を確認してください。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、「xx」の番号を控えて、別紙の相談窓口へご相談ください。

撮影機能／FUNC.メニュー 一覧

機能 ＼ 撮影モード		P	P 長秒時撮影	AUTO	[camera-heart icon]	[portrait icon]	[landscape icon]
ISO感度（p.72）	ISO AUTO ＊1	○	—	○	—	○	○
	ISO HI	○	—	○	○	—	—
	ISO 80 ISO 100 ISO 200 ISO 400 ISO 800 ISO 1600	○	○	—	—	—	—
	ISO 3200	—	—	—	—	—	—
ストロボ（p.59）	⚡A	○	—	○	○	○	○
	⚡	○	○	—	—	○	○
	⚡OFF	○	○	○	○	○	○
ドライブモード（p.60、69、78）	□	○	○	○	○	○	○
	連続撮影	○	○	—	—	○	○
	セルフタイマー 2 10	○	○	○	—	○	○
	セルフタイマー C	○	○	○	—	○	○
撮影領域（p.64、65）	AF	○	○	○	—	○	○
	マクロ	○	○	○	—	○	—
	遠景	○	○	—	—	○	—
	全域	—	—	—	○	—	—
顔セレクト（p.83）		○	○	○	—	○	○
AEロック / FEロック（静止画）（p.86、87）		○	—	—	—	—	—
AEロック・露出シフト(動画)（p.91）		—	—	—	—	—	—
AFロック（p.85）		○	○	—	—	—	—
液晶モニターの表示状態（p.45）	情報表示なし	○	○	○	—	○	○
	情報表示あり	○	○	○	○	○	○

FUNC.メニュー 一覧							
露出補正（p.74）		○	—	—	—	○	○
長秒時撮影（p.88）		—	○	—	—	—	—
ホワイトバランス（p.73）	AWB ＊1	○	○	○	○	○	○
	太陽光 くもり 電球 蛍光灯 蛍光灯H マニュアル	○	○	—	—	—	—
マイカラー（p.75）	OFF V N Se BW C	○	○	—	—	—	—
測光モード（p.85）	評価測光	○	○	○	○	○	○
	中央部重点平均測光	○	—	—	—	—	—
	スポット測光	○	—	—	—	—	—
画質（静止画）（p.70）	S（スーパーファイン） ファイン ノーマル	○	○	○	—＊2	○	○
記録画素数（静止画）（p.70）	L M1 M2 M3 S W	○	○	○	—＊3	○	○
	日付写し込み	○	○	○	—	○	○
記録画素数・フレーム数・画質（動画）（p.90）	640 640LP	—	—	—	—	—	—
	320	—	—	—	—	—	—
	160	—	—	—	—	—	—

＊1 撮影モードに応じた最適値に設定　＊2 ファインに固定　＊3 L に固定　＊4 M3に固定

			SCN									
										ISO 3200		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	—	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○	○
○	—	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○	○
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

FUNC.メニュー 一覧												
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—*4	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○

○ 選択可能　— 選択不可

メニュー 一覧

[ ]（撮影）タブメニュー 一覧

機能	撮影モード	P	長秒時撮影	AUTO			
AFフレーム（p.80）	顔優先	○	○	○	○	○	○
	AiAF	○	○	○	—	○	○
	中央	○	○	○	—	○	○
AFフレームサイズ（p.81）	標準	○	○	○	○	○	○
	小	○	○	—	—	—	—
ピント位置拡大（p.82）		○	○	○	—	○	○
デジタルズーム*1（p.61）	入	○	○	○	○*2	○	○
	テレコン1.4x / テレコン2.3x	○	○	○	—	○	○
ストロボ設定（p.121、122）	スローシンクロ	○	○*2	—	—	—	○*2
	赤目自動補正	○	○	○	—	○	○
	赤目緩和ランプ	○	○	○	○*2	○	○
セルフタイマー（カスタム設定）（p.78）		○	○	○	—	○	○
AF補助光（p.123）		○	○	○	○*2	○	○
撮影の確認（レックレビュー）（p.52）		○	○	○	○*3	○	○
レビュー情報（p.45）	非表示	○	○	○	○	○	○
	詳細表示/ピント確認	○	○	○	—	○	○
自動カテゴリー（p.96）		○	○	○	○*2	○	○
撮影ガイド（p.123）	切	○	○	○	○	○	○
	グリッドライン	○	○	○	—	○	○
	3：2ガイド / 両方	○	○	○	—	○	○
手ブレ補正（p.124）	切	○	○	○	—	○	○
	入	○	○	○	○	○	○
	撮影時 / 流し撮り	○	○	○	—	○	○
ボタン機能登録（p.124）		○	○	○	—	○	○

*1 、選択時は設定不可　*2 常時入　*3 2秒に固定　*4 時のみ

			SCN									
○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
○*2	—	—	○*2	○*2	—	—	—	—	—	—	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	—	○*4	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○ 選択可能　— 選択不可

[YT]（設定）タブメニュー 一覧

項目	内容	参照ページ
消音	入 / 切*	p.51
音量	切 / 1 / 2* / 3 / 4 / 5	p.51
起動画面	入* / 切	p.118
液晶の明るさ	1 / 2 / 3* / 4 / 5	p.118
節電	オートパワーオフの入* / 切 ディスプレイオフ10～30秒 / 1*～3分	p.42、119
日付/時刻	日付（年月日）/ 時刻（時/分）の設定	p.19
カードの初期化	記録内容を初期化して消去	p.49
画像番号	通し番号* / オートリセット	p.119
フォルダ作成	新規作成と自動作成	p.120
縦横自動回転	入* / 切	p.120
レンズ収納時間	1分* / 0秒	p.121
言語	表示言語を選択	p.20
ビデオ出力方式	NTSC* / PAL	p.100
印刷接続方式	自動* / [ワイド]	—
初期設定	カメラの設定を初期状態に戻す	p.48

*初期設定

印刷接続方式について

［W］で撮影した画像を、キヤノンコンパクトフォトプリンター SELPHY CP750/CP740/CP730/CP720/CP710/CP510でワイドサイズ用紙全面に印刷するときは、［[ワイド]］にします。設定は電源を切っても記憶されますので、印刷後は、［自動］に戻してください。

[▶]（再生）タブメニュー 一覧

項目	内容	参照ページ
スライドショー	画像の自動再生	p.98
マイカテゴリー	画像をカテゴリーに分類	p.96
赤目補正	画像の赤目現象を補正	p.105
リサイズ	画像の記録画素数を変えて保存	p.103
音声メモ	音声を録音して画像に付加	p.107
プロテクト	画像を保護	p.102
回転	画像の縦横回転	p.104
全消去	画像の一括消去	p.101
送信指定	パソコンに送信する画像を指定	p.109
再生開始位置	再生モード切り換え時の表示画像を指定	–
再生効果		p.101

[凸]（印刷）タブメニュー 一覧

項目	内容	参照ページ
印刷	印刷指定した画像を印刷	p.26
印刷する画像を指定	印刷する画像を指定	p.113
すべての画像を指定	すべての画像を印刷指定	p.113
すべての指定を解除	すべての印刷指定を解除	p.114
印刷の設定	印刷のスタイルを設定	p.114

主な仕様

カメラ部有効画素数.............約1,000万画素
撮影素子......................... 1/2.3型CCD（総画素数 約1,030画素）
レンズ .... 6.4（W）−38.4（T）mm
（35mmフィルム換算：36（W）−216（T）mm）
F3.2（W）− F5.9（T）
デジタルズーム ....約4.0倍（光学ズームとあわせて最大約24倍）
液晶モニター.................... 3.0型TFT 液晶カラーモニター
約23万ドット、視野率100%
AFフレームモード...............顔優先 / AiAF（9点）/ 中央
撮影距離（レンズ先端より）...通常撮影：50cm~∞
マクロ撮影：1~50cm（W）
遠景：3m~∞
らくらく：5cm~∞（W）、50cm~∞（T）
キッズ&ペット：1m~∞
シャッター...........................メカニカルシャッター・電子シャッター
シャッタースピード.......... 1/60~1/1600秒
15~1/1600秒（すべての撮影モードを合わせたシャッタースピード範囲）
手ブレ補正...........................レンズシフト方式
測光方式...............................評価 / 中央部重点平均 / スポット
露出補正...............................±2段（1/3段ステップ）
ISO感度
（標準出力感度・推奨露光指数）..オート / 高感度オート / ISO 80 / 100 / 200 / 400 / 800 / 1600
ホワイトバランス ....オート / 太陽光 / くもり / 電球 / 蛍光灯 / 蛍光灯H / マニュアル
内蔵ストロボ........................オート / 常時発光 / 発光禁止
内蔵ストロボ調光範囲....... 30cm~3.5m（W）、50cm~2.0m（T）
撮影モード...................... P / オート / らくらく / ポートレート / 風景 / ナイトスナップ / キッズ&ペット / パーティー・室内 / スペシャルシーン*/ 動画**
* 夜景 / 夕焼け / 新緑・紅葉 / スノー / ビーチ / 打上げ花火 / 水族館 / ISO 3200
** スタンダード / ライト
連続撮影...............................約1.3枚/秒（ラージ・ファイン）
セルフタイマー 約10秒後/約2秒後/カスタム
記録媒体......................... SDメモリーカード / SDHCメモリーカード / マルチメディアカード / MMCplusカード / HC MMCplusカード
ファイルフォーマット....... DCF準拠、DPOF対応
*DCFは（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

データタイプ	静止画：Exif 2.2（JPEG） 動画：AVI（画像データ：Motion JPEG、音声データ：WAVE（モノラル）） 音声メモ：WAVE（モノラル）
圧縮率	スーパーファイン / ファイン / ノーマル
記録画素数（静止画）	ラージ　：3648×2736　ミドル1　:2816×2112 ミドル2：2272×1704　ミドル3　:1600×1200 スモール：640×480　日付写し込み　:1600×1200 ワイド　:3648×2048
（動画）	640×480（30フレーム / 秒）/ 640×480（30フレーム / 秒 LP）/ 320×240（30フレーム / 秒）/160×120（15フレーム / 秒）
音声（動画、音声メモ）	量子化ビット：8ビット サンプリングレート：11kHz
再生モード	シングル再生 / インデックス再生 / 拡大再生 / らくらく / スライドショー / マイカテゴリー / 赤目補正 / リサイズ / 音声メモ / プロテクト / 回転 / フォーカスチェッカー /ジャンプ / 動画再生
ダイレクトプリント方式	PictBridge / CPダイレクト / Bubble Jetダイレクト対応
インターフェース	Hi-Speed USB（mini-B） 映像 / 音声出力端子（NTSC またはPAL 切換可能、モノラル音声）
通信プロトコル設定	MTP / PTP
電源	単3形アルカリ電池×2 単3形ニッケル水素電池（×2）NB4-300（別売り） ACアダプターキット ACK800（別売り）
動作温度	0~40℃（NB-3AH使用時は0~35℃）
動作湿度	10~90%
大きさ（突起部を除く）	101.9×63.5×31.9mm
質量（本体のみ）	約185g

Ni-MH

- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。
  詳細は、有限責任中間法人JBRCのホームページをご参照ください。
  ホームページ：http://www.jbrc.com
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

索引

【英数字】

3:2 ガイド..123
AC アダプターキット.......................126
AE ロック...86
AF　→ピント合わせ
AF フレーム.................................22, 80
AF ロック...85
AiAF...81
AV ケーブル.................................2, 100
Digital Camera Solution Disk........2
DPOF..............................109, 111
FE ロック...87
FUNC. メニュー機能
　一覧...134
　基本操作..46
ISO 3200（シーンモード）................58
ISO 感度..72
L 判..71
MMCplus / HC MMCplus カード　→カード
MultiMediaCard カード　→カード
PictBridge.....................................26
SD/SDHC カード　→カード

【あ】

赤目
　緩和...122
　自動補正..122
　補正...105
アクセサリー.....................................36
圧縮率　→画質
イージーダイレクトボタン........26, 124
色あい（ホワイトバランス）...............73
印刷...26
印刷予約（DPOF）...........................111
インターフェースケーブル.....2, 26, 31
打ち上げ花火 （シーンモード）...........58
液晶モニター　→画面
エラー表示......................................132
遠景...65
オートフォーカス　→ピント合わせ
音..51
音声メモ...107

【か】

カード
　撮影できる枚数......................17, 71
　初期化..49
海外で使う......................................128
回転..104
顔セレクト..83
顔優先...80
拡大表示..97
各部のなまえ.....................................40
画質（圧縮率）..................................70
画像
　消す...25
　再生　→見る
　表示時間...52
　編集　→編集
　保護（プロテクト）.........................102
画像番号...119
家庭用電源......................................126
カメラ
　構えかた...13
　設定初期化......................................48
画面
　表示一覧...43
　表示の切り換え................................45
　メニュー操作...........................46, 47
キッズ&ペット（シーンモード）.........55
記録画素数（画像の大きさ）...............70
グリッドライン................................123
消す...25
高感度.......................................58, 72
故障..129

【さ】

再生　→見る
再生効果...101

再生ボタン..41
撮影ガイド..123
撮影日時　→日付／時刻
撮影枚数..17, 71
シャッターボタン..21
消去　→消す
初期化　→カード - 初期化、カメラ - 設定初期化
初期状態　→カメラ - 設定初期化
白黒画像..75
新緑／紅葉（シーンモード）..57
水族館（シーンモード）..58
ズーム..22, 28, 61
ストラップ..2, 13
ストロボ
　常時発光..59
　発光禁止..59
　補助ストロボ..126
スノー（シーンモード）..57
スライドショー..98
セーフティーズーム..61
設定初期化　→カメラ - 設定初期化
節電..42, 118
セピア調画像..75
セルフタイマー
　撮影..60
　タイマー時間と枚数を変える..78
全消去..101
測光モード..85
ソフトウェア
　ソフトウェアクイックガイド..2
　Digital Camera Solution Disk ...2
　パソコンへの取り込み..31

【た】

ダイレクトプリント..26
ダイレクトプリントユーザーガイド......2
端子..26, 33, 100, 126
長秒時撮影..88
デジタルズーム..61
デジタルテレコンバーター..62
手ブレ..59, 124
テレビで見る..100
テレビを使って撮る..77
電源　→電池
電源ボタン..22
電池
　アルカリ電池..2, 14
　残量表示..16
　充電式電池..38
　節電..42, 118
　ニッケル水素電池..16
　日付 / 時刻用電池..19
動画
　画質（フレーム数）..90
　記録画素数..90
　撮影時間..29, 91
　見る（さいせい）..30
　モード..90

【な】

ナイトスナップ（シーンモード）........55
日時　→日付／時刻

【は】

パーティー／室内（シーンモード）....56
ハイパワーフラッシュ..126
パソコンへの画像転送......35, 108, 109
バッテリー　→電池
バッテリー／チャージャー..38
花火　→打ち上げ花火
ビーチ（シーンモード）..57
ピクトブリッジ（PictBridge）..26
ヒストグラム..44
日付／時刻
　画像への記録..63
　設定..18
　日付／時刻用電池..19
　変更..19
ビデオ撮影　→動画
表示言語..20
ピント合わせ（AF）
　AF フレーム..22, 80

AF ロック..................................... 85
顔セレクト.................................... 83
ピント位置拡大............................ 82
風景（シーンモード）........................... 55
フォーカスチェッカー.......................... 84
フォーカスロック 76
フォーマット（カードの初期化）........ 49
付属品　→アクセサリー
フラッシュ　→ストロボ
プリンター........................... 26, 27, 112
プリント　→印刷
プログラム AE.............................. 68
プロテクト（保護）............................102
編集
赤目補正.......................................105
回転...104
リサイズ（画像を小さくする）...103
ポートレート（シーンモード）............ 55
補助ストロボ......................................126
ホワイトバランス（色あい）............... 73

【ま】

マイカテゴリー.................................... 96
マイカラー... 75
マクロ撮影... 64
まとめて消す......................................101
マルチメディアカード　→カード
見る
1 枚表示.. 24
9 枚表示（インデックス表示）...... 94
拡大表示.. 97
スライドショー............................. 98
テレビで見る...............................100
ピント位置拡大............................ 82
メニュー機能
一覧..136
基本操作.. 47
メモリーカード　→カード
モードダイヤル.................................... 40
モノクロ画像　→白黒画像

【や】

夜景（シーンモード）...........................57
夕焼け（シーンモード）.......................57

【ら】

らくらくモード.............................24, 54
ランプ 42, 122, 123
リサイズ（画像を小さくする）..........103
リストストラップ　→ストラップ
連続撮影（連写）...................................69
露出
AE ロック 86
FE ロック 87
補正...74

【わ】

ワイド（記録画素数）....................70, 71

補修用性能部品について

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

妨害電波自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイド（本書）に従って正しい取り扱いをしてください。

商標について

- DCFは、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- DCFロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- SDHCロゴは商標です。

このガイドについて

- 内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- 内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたら、別紙の相談窓口までご連絡ください。
- この製品を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。